

コンパクトルーティングスイッチャー

Gen シリーズ

WEB 設定

取扱説明書

Ver 1.10



はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

警告

■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なおいがする、異常な音がする。
このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、
本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。



■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。



■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、
落とし込んだりしないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いてください。



■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
機器を改造しないでください。 火災・感電の原因となります。



■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。



■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。



■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。



■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
電源ケーブルを熱器具に近づけない。 火災・感電の原因となります。



■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



■ 機器の上に小さな金属物を置かない

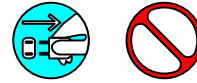
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体
から抜いてください。 火災・感電・故障の原因となります。



注意

■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。



■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。
湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。



■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。お向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。



■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。



■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。



■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目 次

内容

1. 概要.....	7
2. 特長.....	7
3. システム要件.....	7
3-1. 対応ブラウザ.....	7
3-2. ネットワーク環境	8
3-3. 起動.....	8
4. ビデオ系ルーターの設定.....	10
4-1. 入カステータス タブ	11
4-2. クロスポイント タブ	12
4-3. プレビュー タブ	14
4-4. 一般 タブ	15
4-5. ラベル タブ	19
4-5-1. Source/Destination Labels	20
4-5-2. Source/Destination Label Abbreviations.....	21
4-6. インヒビット タブ	22
4-7. サルボ タブ.....	23
4-8. グループ クロスポイント タブ	25
4-9. SG タブ.....	28
4-10. マルチビュー タブ	30
4-11. GPIO タブ.....	34
4-11-1. DSUB9-1 (Gen4848-12G、Gen6464-12G、Gen7272-12G 以外).....	36
4-11-2. DSUB9-1 (Gen4848-12G、Gen6464-12G、Gen7272-12G)	37
4-11-3. DSUB15-1、DSUB15-2	39
4-11-4. DSUB15-3 (Gen4848-12G、Gen6464-12G、Gen7272-12G)	40
4-11-5. Status Out	41
4-11-6. Tally In	41
4-11-7. Tally Out.....	42
4-11-8. Salvo.....	42
4-11-9. Multiview Switch.....	43
4-12. マトリックス分割 タブ	44
4-13. NS-BUS タブ	45
4-14. 時刻 タブ	47
4-15. ネットワーク タブ	49
4-16. アップデート タブ	50

4-17. 製品情報 タブ	51
5. オーディオ系ルーターの設定.....	52
5-1. ステータス タブ.....	52
5-2. 入力ステータス タブ	53
5-3. 一般 タブ.....	54
5-4. SG タブ.....	55
5-5. レート変換 タブ	57
6. コントロールパネルの設定	58
6-1. 一般 タブ.....	58
6-2. 接続先 タブ	61
6-3. ラベル タブ	63
6-4. ボタン タブ	64
6-4-1. BUS コマンド	67
6-4-2. DEST N コマンド	69
6-4-3. SRC N コマンド	70
6-4-4. DEST コマンド	71
6-4-5. SRC コマンド	72
6-4-6. NUMBER コマンド.....	73
6-5. サルボ タブ.....	74
6-6. 時刻 タブ.....	75
6-7. ネットワーク タブ	75
6-8. アップデート タブ.....	75
6-9. 製品情報 タブ	75
7. お問い合わせ	76

1. 概要

コンパクトルーティングスイッチャーGen シリーズは、構成や設定の確認、変更、操作を Web ブラウザーで行うことができます。

2. 特長

- ・Gen シリーズのルーター又はコントロールパネルのステータス表示、設定確認・変更が Web ブラウザーで可能
- ・ブロードキャストドメインに接続されているすべてのルーターとコントロールパネルを自動検出可能
- ・SNMP TRAP の通知／非通知を項目ごとに設定可能

3. システム要件

3 – 1. 対応ブラウザ

Google Chrome および Microsoft Edge に対応しています。

Microsoft Edge に関しては、バージョン情報表示で「このブラウザは Chromium オープンソースプロジェクトおよび他のオープンソースソフトウェアに基づいて機能します。」と記述があるものが対象です。

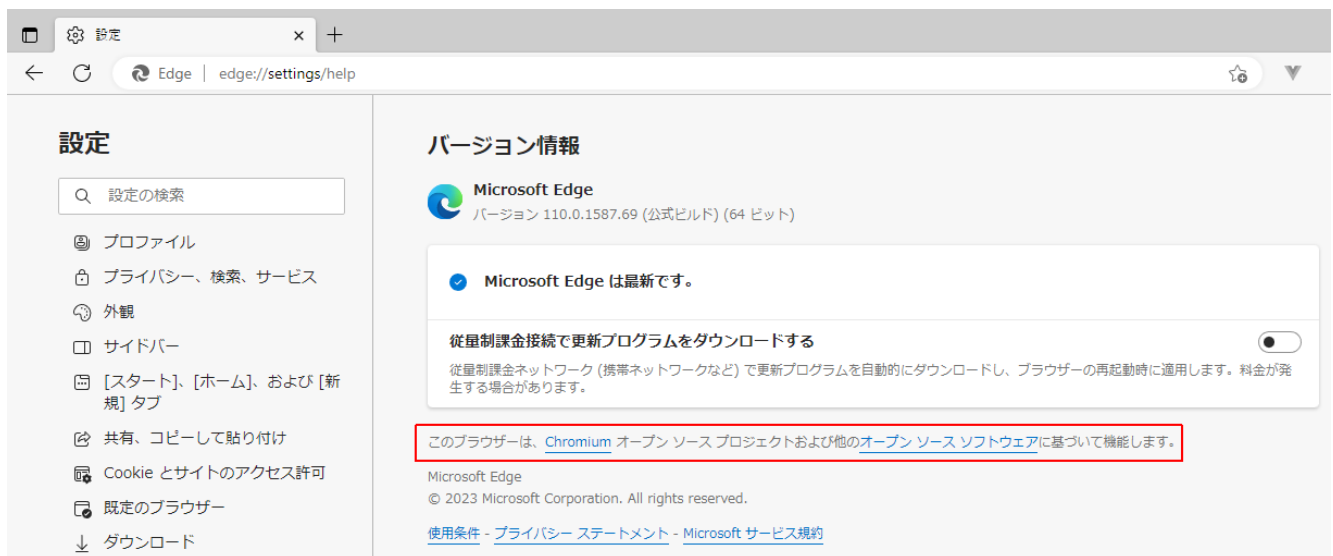


図 3-1 Microsoft Edge バージョン情報確認

3-2. ネットワーク環境

MG-LAN または、MG-LAN に接続されたルーターにブラウザが動作する PC を接続します。

3-3. 起動

ブラウザで IP アドレスを入力して、Gen に接続します。接続されているルーターの 1 つの IP アドレスを指定してください。

複数のルーターを接続する場合には、個別に接続し、IP アドレスを変更後、イーサネットスイッチで接続してください。

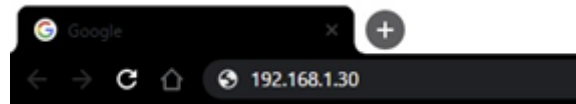


図 3-2 Gen Web アプリ起動方法

Gen に接続すると、CP-LAN に接続しているルーターとコントロールパネルの一覧が表示されます。

ルーターの IP アドレス出荷時設定は、Model ごとに異なり、SDI ルーターは“192.168.1.30”、AES ルーターは“192.168.1.31”です。

Model	MG-LAN 初期 IP アドレス
GenXXXX-3G、GenXXXX-12G、GenYYYY-12G-Plain	192.168.1.30
GenXXXX-AES、GenYYYY-AES-Plain	192.168.1.31

※XXXX は 1616、2424、3232、4848、6464、7272 を表します。

※YYYY は 1616、3232 を表します。

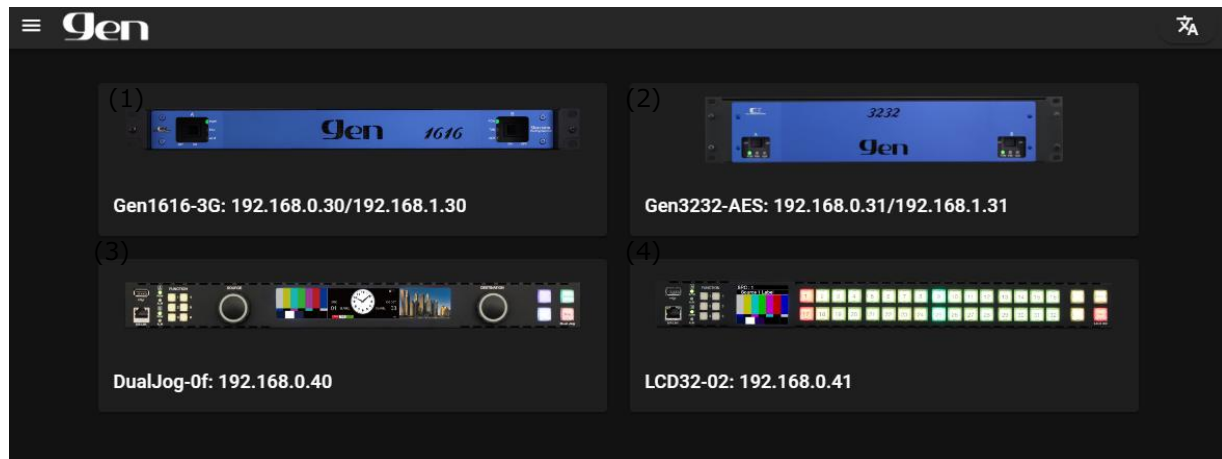


図 3-3 接続機器一覧画面例

上記例では、2 台のルーターと 2 台のコントロールパネルが検出されています。

- (1) ビデオ系ルーター本体: Gen1616-3G
- (2) オーディオ系ルーター本体: Gen3232-AES
- (3) コントロールパネル: DualJog (コントロールパネル名称 DualJog-0f)
- (4) コントロールパネル: LCD32 (コントロールパネル名称 LCD32-02)

(1),(2)のルーター本体は CP_LAN、MG_LAN の 2 系統があり CP_LAN、MG_LAN の順に表示されます。

(1)Gen1616-3G を例にすると 192.168.0.30 が CP_LAN、192.168.1.30 が MG_LAN の IP アドレスです。

(3),(4)のコントロールパネルは CP_LAN の IP アドレスを意味します。コントロールパネル名称は、モデル名+MAC アドレス下 2 桁が出荷時設定です。

各々の画像を押下すると、押下したルーター、コントロールパネルの設定画面に遷移します。

4. ビデオ系ルーターの設定

画面上部に設定項目ごとのタブが表示され、タブを選択することにより各種設定を行います。

ステータスタブを押下すると、以下のタブが表示されます。



図 4-1 ビデオルーター：ステータスタブ画面

- ・電源 A,B：電源 A,B の 12V 出力の状態と出力電圧値を表示します。
- ・FAN A1,B1：回転状態と回転数を表示します。FAN の数は、モデルにより異なります。
 - A1：電源 A(左側電源) 1 つ目のファン
 - A2：電源 A(左側電源) 2 つ目のファン
 - B1：電源 B(右側電源) 1 つ目のファン
 - B2：電源 B(右側電源) 2 つ目のファン
 - C：筐体中央ファン
- ・CPU 温度：搭載 CPU の温度状態と温度を表示します。
- ・FPGA 温度：制御 FPGA (搭載デバイス) のチップ内温度の状態と、温度を表示します。

正常時は背景が緑で OK、異常時は背景が赤で NG と表示されます。

モデルごとのファン構成は以下の通りです。

Model	A1	B1	A2	B2	C
AES モデルすべて	×	×	×	×	×
Gen1616-3G/12G Gen1616-12G-Plain Gen3232-12G-Plain	○	○	×	×	×
Gen2424-3G/12G Gen3232-3G/12G	○	○	○	○	×
Gen4848-3G/12G Gen6464-3G/12G Gen7272-12G	○	○	×	×	○

4 - 1. 入力ステータス タブ

入力ステータス タブを押下すると、以下のタブが表示されます。



図 4-2 入力ステータス画面

リファレンス入力、ソース入力の状態を表示します。リファレンス入力は入力ビデオフォーマットを表示します。

それぞれ、信号にロックした場合は Lock、ロックできなかったときは Unlock と表示されます。

ソース入力は、SDI 信号の Lock/Unlock 状態と入力ビデオフォーマットを表示します。

SDI 信号の検出は、最大 1 分程度更新が遅れることがあります。

4 - 2. クロスポイント タブ

クロスポイント タブを押下すると、以下のタブが表示されます。

・ステータス確認モード:

現在のクロスポイントの選択状態を確認できます。

クロスポイント設定を変更する場合は、スイッチを押下し編集モードにしてください。

ステータス確認モードは現在のクロスポイント設定は白○、インビット設定されている SRC は赤×、DEST_LOCK_ALL は背景赤、DEST_LOCK_OTHER は背景ピンクで表示されます。

<
ステータス
入カステータス
クロスポイント
プレビュー
一般
ラベル
インビット
サルボ
SG
>

映像レータ

☒
ステータス確認モード

☐
DEST LOCK ALL

SRC DEST	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	SG	MV	DEST LOCK
1	○												×	×	×	×			UNLOCKED
2	○																		LOCKED
3	○																		LOCKED
4	○																		UNLOCKED
5	○																		UNLOCKED
6	○																		UNLOCKED
7	○																		UNLOCKED
8	○																		UNLOCKED
9	○																		UNLOCKED
10	○																		UNLOCKED
11	○																		UNLOCKED
12	○																		UNLOCKED
13	○																		UNLOCKED
14	○																		UNLOCKED
15	○																		UNLOCKED
16	○																		UNLOCKED

図 4-3 クロスポイント ステータス確認モード画面

・編集モード

編集モードのときに任意のクロスポイントを押下すると、クロスポイント設定が実行されます。

クロスポイント表示は赤○で表示されます。

ただし、インヒビット設定の赤×、DEST_LOCK_ALL の赤背景は変更できません。

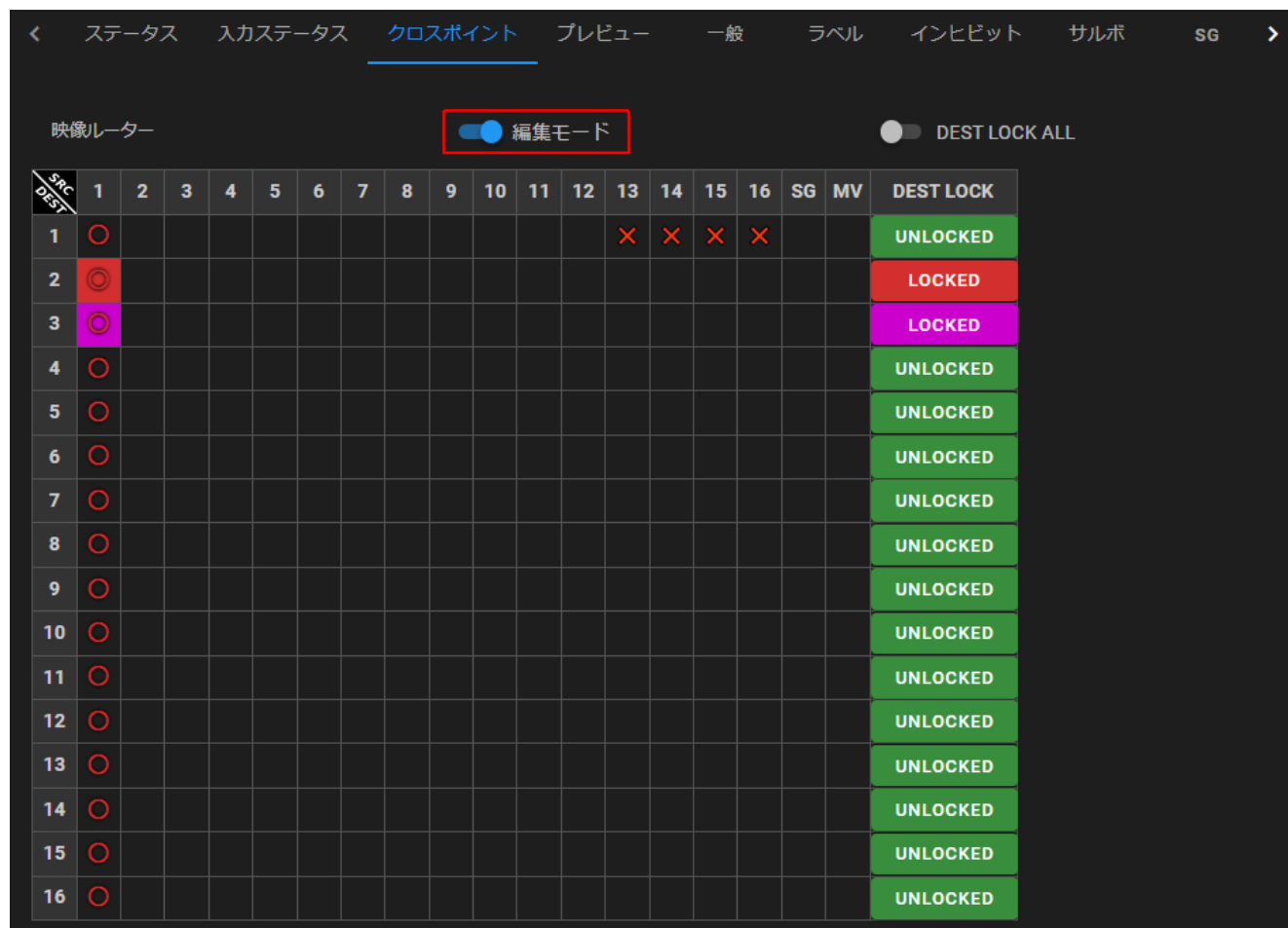


図 4-4 クロスポイント ステータス編集モード画面

・DEST LOCK ALL/DEST LOCK OTHER ボタン

・クロスポイント表示右のボタン

機能名	背景色	機能
UNLOCKED	緑	Web/RS-232C、すべてのコントロールパネルからクロスポイント切替ができます
DEST LOCK ALL	赤	Web/RS-232C、すべてのコントロールパネルからクロスポイント切替を禁止します
DEST LOCK OTHER	ピンク	DEST_LOCK_OTHER をかけたコントロールパネルからのみクロスポイント切替ができます※

※ Webから DEST_LOCK_OTHERを設定した場合、クロスポイント切替は Web/RS-232C からのみクロスポイント切替が可能です。
RS-232C のみのクロスポイント切替を行う場合、DEST_LOCK_OTHER を設定後ステータス確認モードに変更してください。

4-3. プレビュー タブ

プレビュー タブを押下すると、以下のタブが表示されます。



図 4-5 プレビュー画面

・種別：

表示するプレビューをソースかデスティネーションかを選択します。

・番号：

種別がソースの場合クロスポイント入力と SG(内部信号発生機)、MV(マルチビュー)、デストの場合クロスポイントが選択しているソース画像をプレビューできます。

プレビュー機能を有効にするためには、ビデオ系ルーター：一般タブで**プレビュー可能なデバイス**に「**Web Browser**」が選択されていることを確認してください。

また、プレビュー可能なデバイスは Web Browser を含めて 4 台であるため、複数台のコントロールパネルを接続する場合は注意してください。

4 - 4. 一般 タブ

一般タブを押下すると、以下のタブが表示されます。



図 4-6 一般設定画面 1

・保存ボタン：

ボタンを押下すると、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン：

ボタンを押下すると、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・ルーター名称：

ルーター名称が設定できます。初期設定値は、ルーターモデル名 + MAC アドレス下位 2 桁です。

・ルーターID：

ルーターの ID を設定します。

Gen システムでのルーターID は、ルーターの識別子として使用されますので、同じネットワーク内では、重複しない ID を設定します。

設定できる ID は 0～5 で、初期設定は 0 です。

設定変更後、保存ボタンを押下することにより、ルーターに設定が保存されます。

工場出荷時のルーターID は、以下の通りです。

Model	初期ルーターID
GenXXXX-3G、GenXXXX-12G、GenXXXX-12G-Plain	0
GenXXXX-AES、GenXXXX-AES-Plain	1

※XXXX は 1616、2424、3232、4848、6464、7272 を表します。

・システムフォーマット：

リファレンスに同期して切り替える時に、どのフォーマットのタイミングで切り替えるかを設定します。

システムフォーマットと同じフォーマットの信号は、スイッチングポイントで切り替わりますが、違うフォーマットはスイッチングポイント外で切り替わります。設定できるフォーマットは、以下の通りです。

初期設定は、**1080I59** です。

525I59	625I50	720P60	720P59	720P50	720P30	720P29	720P25
720P24	720P23	1080I60	1080I59	1080I50	1080P30	1080P29	1080P25
1080P24	1080P23	1080PSF30	1080PSF29	1080PSF25	1080PSF24	1080PSF23	1080P60A
1080P59A	1080P50A	1080P60B	1080P59B	1080P50B			

・プレビュー可能なデバイス：

ビデオ系ルーター:プレビュータブや、LCD 搭載のコントロールパネルにプレビュー出力を許可する場合対象のデバイスを許可してください。

プレビューデバイスは最大 4 台までです。例では、WebBrowser、DualJog-0f、LCD32-02 の 3 台が許可されています。

※コントロールパネル名称が重複したコントロールパネルが同一ネットワーク内に複数存在する場合、正しく表示されない場合があるため、出荷時のコントロールパネル名称はモデル名 + MAC アドレス下 2 桁としています。

SNMPコミュニティ名
public
X

SNMPマネージャ設定

IP Address	Port	Trap OID Type
0.0.0.0	162	<input type="radio"/> 異なるOID
0.0.0.0	162	<input type="radio"/> 異なるOID

SNMPトラップ出力設定

ソース	トラップ出力
1: Source01	<input checked="" type="checkbox"/>
2: Source02	<input checked="" type="checkbox"/>
3: Source03	<input checked="" type="checkbox"/>
4: Source04	<input checked="" type="checkbox"/>
5: Source05	<input type="checkbox"/>
6: Source06	<input type="checkbox"/>
7: Source07	<input type="checkbox"/>
8: Source08	<input type="checkbox"/>
9: Source09	<input type="checkbox"/>
10: Source10	<input type="checkbox"/>
11: Source11	<input type="checkbox"/>
12: Source12	<input type="checkbox"/>
13: Source13	<input type="checkbox"/>
14: Source14	<input type="checkbox"/>
15: Source15	<input type="checkbox"/>
16: Source16	<input type="checkbox"/>

図 4-7 一般設定画面 2

・SNMP コミュニティ名：

SNMPv1 のコミュニティ名を設定します。デフォルトは"public"です。

・SNMP マネージャー設定：

SNMP マネージャーの設定を最大 2 箇所まで設定できます。

・IP Address：

SNMPトラップ送信先のアドレスを設定します。"0.0.0.0"の場合、無効アドレスと判断し、トラップ送信しません。

・ポート：

SNMPトラップ送信先のポート番号を設定します。

・Use Same Trap OID：

「同じ OID」を選択したとき、正常/異常に関わらず、同じ Trap OID(3000 番台)を使用します。

「異なる OID」を選択したとき、正常(1000 番台)、異常(2000 番台)で異なる Trap OID を使用します。

Trap OID に関しては、MIB ファイルを参照してください。

・トラップ出力設定：

入力ソースごとに Lock/Unlock に状態が変わったときにトラップを送信するかどうかを設定します。

チェックをつけた場合、状態が変わったときにトラップを送信します。図ではソース 1～4 の状態が変わったときにトラップを送信します。

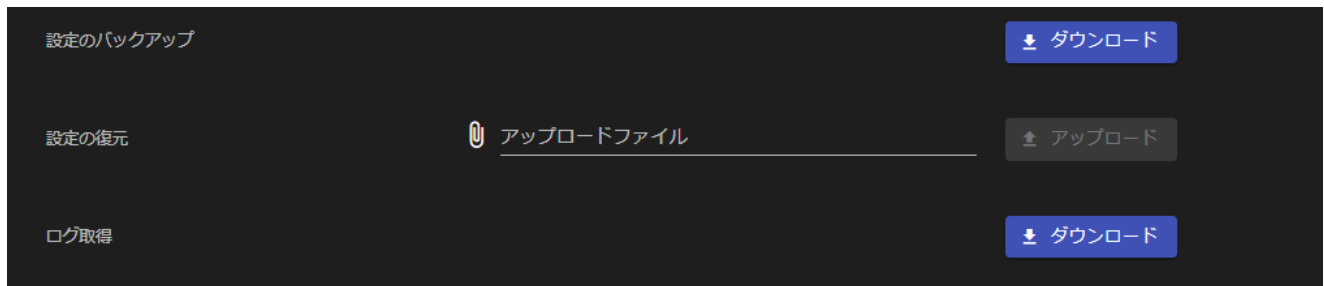


図 4-8 一般設定画面 3

・設定のバックアップ：

現在のルーター設定を保存します。

・設定の復元：

設定のバックアップで保存されたファイルを用いて、設定を復元します。ファイル選択後、アップロードボタンを押してください。

・ログ保存：

入力信号のステータス変更、クロスポイント変更などのログを取得します。ログはテキストファイルです。

ログファイル名は モデル名-シリアル番号-年月日-時分_event.txt の形で保存します。

ログは、日付、種別、ターゲット、状態の順に表示します。

種別は info/normal/warn/ALARM の 4 種類です。

ターゲットは input(入力)、ref、Fan、power(電源)、xxpt(クロスポイント切替)などです

状態は入力の場合、フォーマット、クロスポイント切替の場合コマンド文字列です。

ログ例

```

2022-11-11 11:59:39.361814, normal , input 1, lock , 1080I59
2022-11-11 11:59:39.361970, normal , input 3, lock , 1080I59
2022-11-11 11:59:39.362049, normal , input 4, lock , 1080I59
2022-11-11 11:59:39.394531, normal , ref sdi , lock , 1080I59
2022-11-11 11:59:39.394806, ALARM , power B, NG
2022-11-11 12:00:10.499126, info , [CEBUS] xxpt, 192.168.0.40, {"crosspoints": [[2, 0]], "element": 1, "layer_id": 0, "router_id": 0}
2022-11-11 12:00:10.585903, info , [NSBUS] RunNotify() MtxNotifyXptChanged
2022-11-11 12:00:25.211098, normal , power B, OK
2022-11-11 12:09:41.925487, ALARM , input 1, UNLOCK , No Signal
2022-11-11 12:10:13.118431, normal , input 1, lock , 1080I59

```

4 - 5. ラベル タブ

ラベル タブを押下すると、以下のタブが表示されます。



図 4-9 ラベル設定画面 1

SDI-layer1:

レイヤー名称です。名称の変更はマトリックス分割タブで行います。

工場出荷時設定は SDI ルーターの場合 SDI-layer1、AES ルーターの場合 AES-layer1 です。

・保存ボタン：

ボタンを押下すると、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン：

ボタンを押下すると、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・概略ラベルコピーボタン：

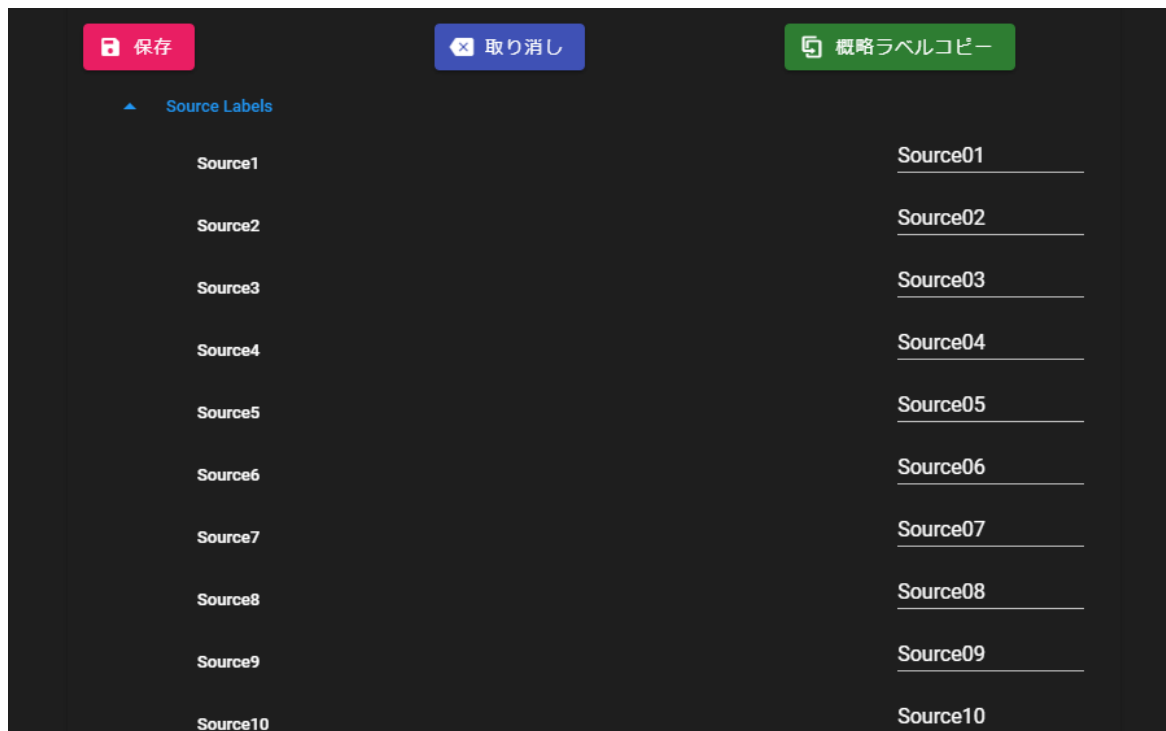
ボタンを押下すると、Source/Destination Label Abbreviations を、Source/Destination Labels にコピーします。

コピーを反映させるためには保存ボタン、やめるときは取り消しボタンを押下してください。

※ Source Label Abbreviation、Destination Label Abbreviation を設定、保存ボタンを押下後にコピーボタンを押下してください。

4 - 5 - 1 . Source/Destination Labels

Source/Destination Labels を押下するとソース/デストラベル名の設定画面が表示されます。



Source Label	Destination Label
Source1	Source01
Source2	Source02
Source3	Source03
Source4	Source04
Source5	Source05
Source6	Source06
Source7	Source07
Source8	Source08
Source9	Source09
Source10	Source10

図 4-10 ラベル設定画面 2

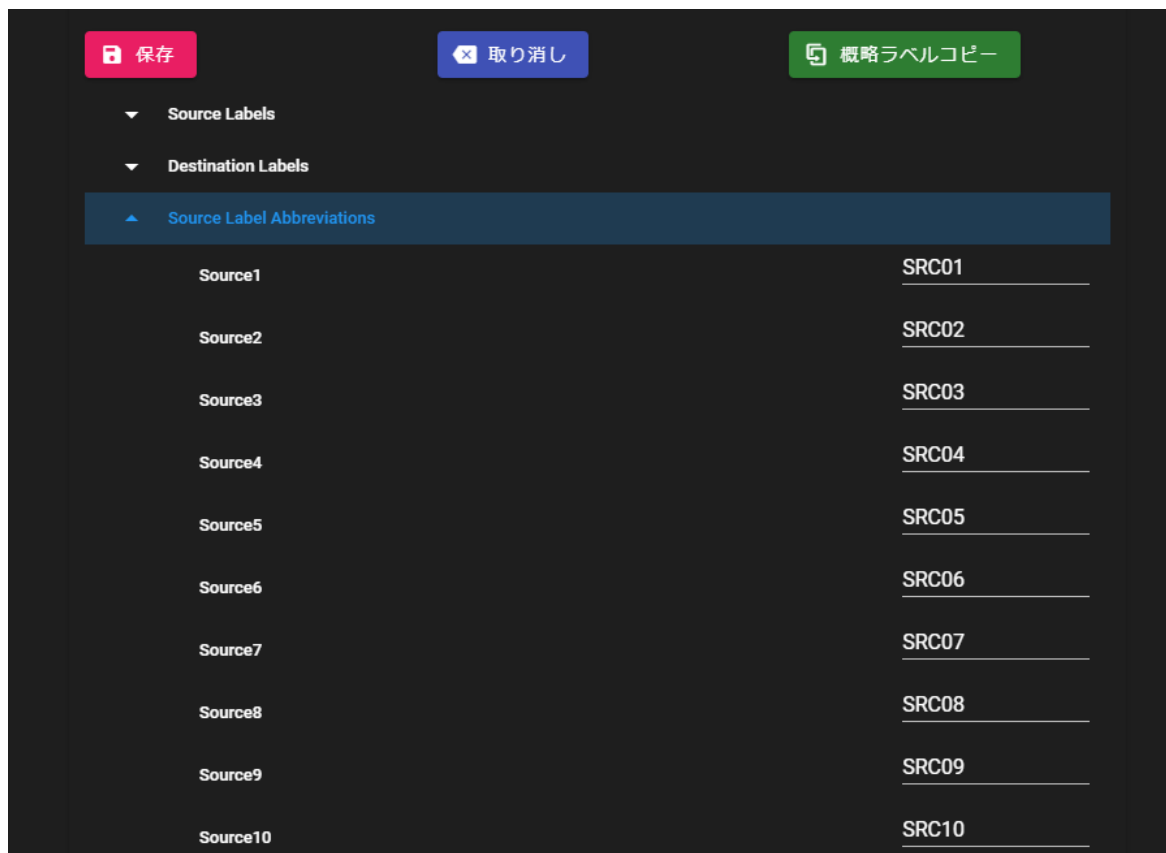
設定したラベル名は、マルチビューと DualJog、TTDualJog、TT32 の詳細ラベル表示モードで使用されます。

半角英数字 16 文字、漢字 8 文字まで設定が可能です。

設定変更後、保存ボタンを押下することにより、ルーターに設定が保存されます。

4 – 5 – 2 . Source/Destination Label Abbreviations

Source/Destination Label Abbreviations を押下するとソース/デスト概略ラベル名の設定画面が表示されます。



Source	Abbreviation
Source1	SRC01
Source2	SRC02
Source3	SRC03
Source4	SRC04
Source5	SRC05
Source6	SRC06
Source7	SRC07
Source8	SRC08
Source9	SRC09
Source10	SRC10

図 4 -11 ラベル設定画面 3

設定した概略ラベル名は、LCD 搭載コントロールパネルの詳細ラベル表示モード以外で使用されます。

半角英数字 8 文字、漢字 4 文字まで設定が可能です。

設定変更後、保存ボタンを押下することにより、ルーターに設定が保存されます。

4-6. インビット タブ

インビット タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。

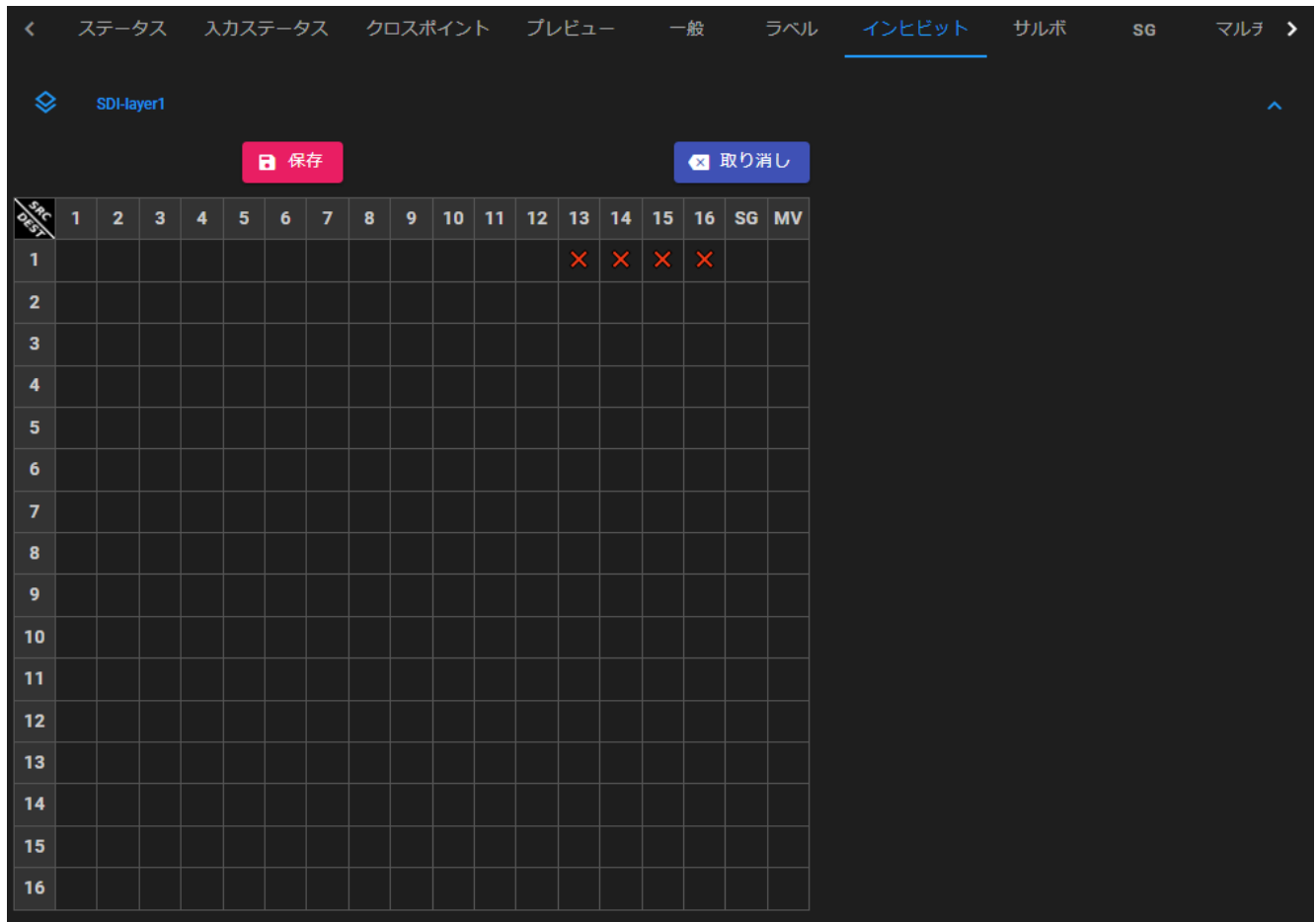


図 4-12 インビット設定画面

インビット(設定禁止)するクロスポイントを押下することにより、インビットを設定します。

クロスポイントを再度押下することによりインビット設定を解除できます。ドラッグ操作により範囲選択が可能です。

取り消しボタンを押下すると、保存前の設定状態に戻ります。

設定変更後、保存ボタンを押下することにより、ルーターに設定が保存されます。

インビット設定されたソースは DualJog のロータリーエンコーダでソース選択の際、選択できないようにスキップされます。

デスト 1 の例ではソース 12 の次はソース SG が表示され、ソース SG の前はソース 12 が表示されます。

(1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 5 ↔ 6 ↔ 7 ↔ 8 ↔ 9 ↔ 10 ↔ 11 ↔ 12 ↔ SG ↔ MV)

コントロールパネルで「無効ボタンの LED 消灯」を「はい」にしている場合、SRC_N、NUMBER を設定したボタンで、インビット設定されたソース番号に該当する場合、ボタンは消灯します。

4-7. サルボ タブ

サルボ タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。



図 4-13 サルボ設定画面

初期設定では、「UnitMarix」という単位行列にマトリクス設定するサルボと、全てのデストをカラーバーにする「ColorBar」というサルボが登録されています。

新しいサルボを登録するときは追加または削除するサルボにサルボ名を入力後、追加ボタン、又は、削除ボタンを押してください。

登録されているサルボの設定変更をする場合には、サルボ名を押下してください。

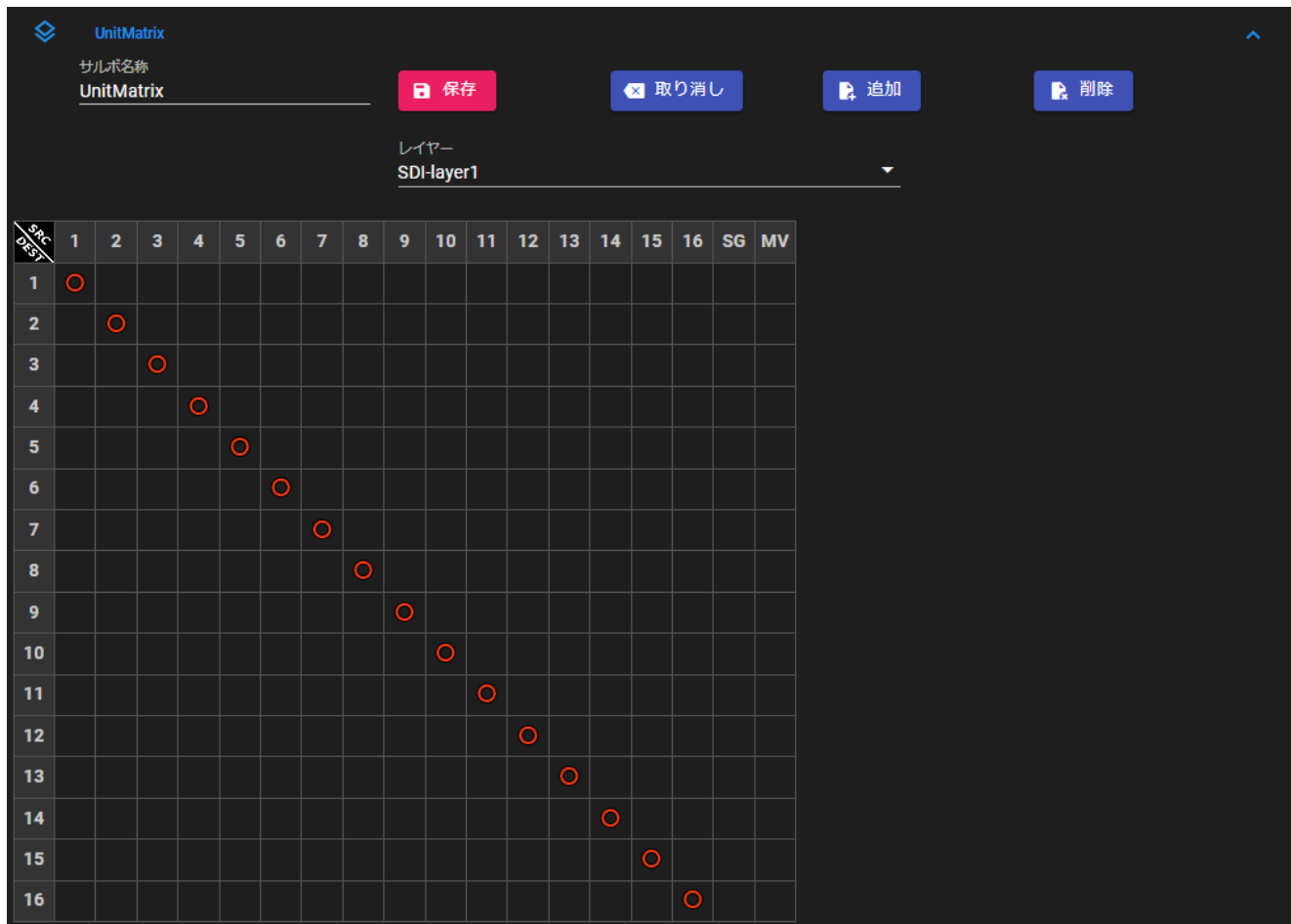


図 4-14 サルボ設定画面(UnitMatrix)

同時に切り替えるクロスポイントを押下することにより、サルボ設定し、再度押下することによりサルボ設定を解除できます。

取り消しボタンを押下すると、保存前の設定状態に戻ります。

設定変更後、保存ボタンを押下することにより、ルーターに設定が保存されます。

サルボの追加ボタンを押下すると、異なるレイヤーや、異なるルーターを追加設定することができます。

削除ボタンを押下すると最後に追加したレイヤーが削除されます。

サルボ名は大文字、小文字を区別します。複数のサルボを登録する場合、同じサルボ名称にならないよう注意してください。

4-8. グループ クロスポイント タブ

グループ クロスポイント タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。

グループクロスポイントは、Dual-Link など複数のソース、デストを 1 つのクロスポイントとして扱うときに設定します。



図 4-15 グループ クロスポイント設定画面

・LINK 数：

複数のクロスポイントを 1 つのソース、デストとして扱います。2～8 まで選択できます。

6G Dual-Link のときは 2、12G Quad-Link のときは 4 を設定してください。

・追加ボタン①：

LINK 数を設定後、追加ボタンを押下してください。

以下 LINK 数 2 として説明します。

2 を設定後押下した場合、図 4-15 の画面となります。

グループソース、グループデスト共、最低 1 つの設定を行うことで Dual-Link として扱うことができます。

・削除ボタン②：

LINK 数 2 のグループ ソース/デストを削除します。

・追加ボタン③：

LINK 数 2 のグループソースを追加します。

追加ボタンを押下することにより「Group 1」、「Group 2」のラベル名のグループ ソースが作成されます。

・削除ボタン④：

LINK 数 2 の設定済みグループ ソース全体を削除します。

・追加ボタン⑤：

LINK 数 2 のグループ デストを追加します。

追加ボタンを押下することにより「Group 1」、「Group 2」のラベル名のグループ デストが作成されます。

・削除ボタン⑥：

LINK 数 2 の設定済みグループ デスト全体を削除します。

グループ ソース横の 追加ボタン③を 2 回押下すると、「Group 1」、「Group 2」の 2 つの LINK 数 2 のグループソースが作成されます。

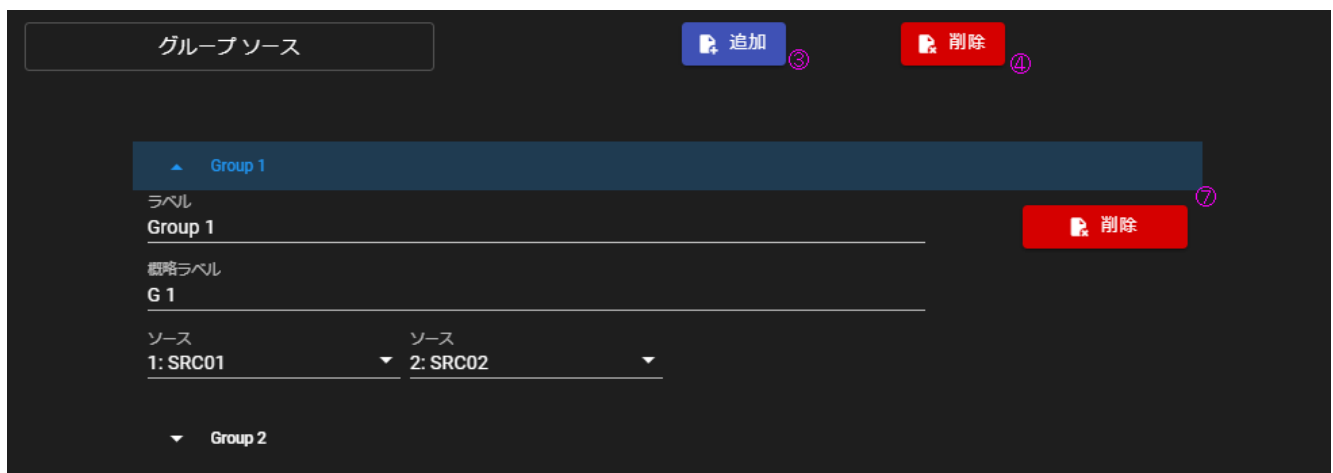


図 4-16 グループ ソースの追加・削除、設定画面

・削除ボタン⑦：

ラベル「Group 1」で表示されるグループ ソースのみを削除するとき、このボタンを押下します。

・ラベル(グループ ソース)：

グループ ソースのラベル名を設定します。半角英数字 16 文字、漢字 8 文字まで設定が可能です。

本ラベルは DualJog などの LCD 付きコントロールパネルのグループ ソース表示に使用します。

ラベルを変更すると、青字の表示もラベル名に合わせて変更します。

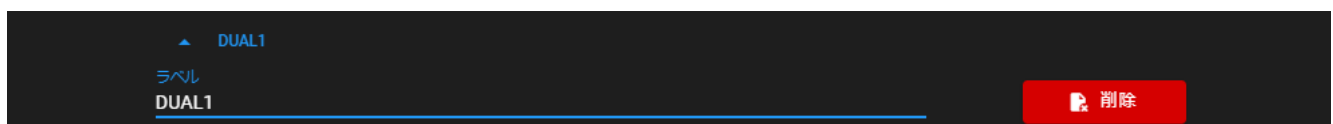


図 4-17 グループ ソース ラベルの変更画面

・概略ラベル(グループ ソース)：

グループ ソースの概略ラベル名を設定します。半角英数字 8 文字、漢字 4 文字まで設定が可能です。

本ラベルは DualJog などの LCD 付きコントロールパネルのグループ ソース表示に使用します。

・ソース：

グループ ソースを構成するソースをします。例えばカラーバーのように同じソース番号を選択することも可能です。

グループ ソース同様、グループ デストの追加ボタン⑤を 2 回押下すると、「Group 1」、「Group 2」の 2 つの LINK 数 2 のグループ ソースが作成されます。

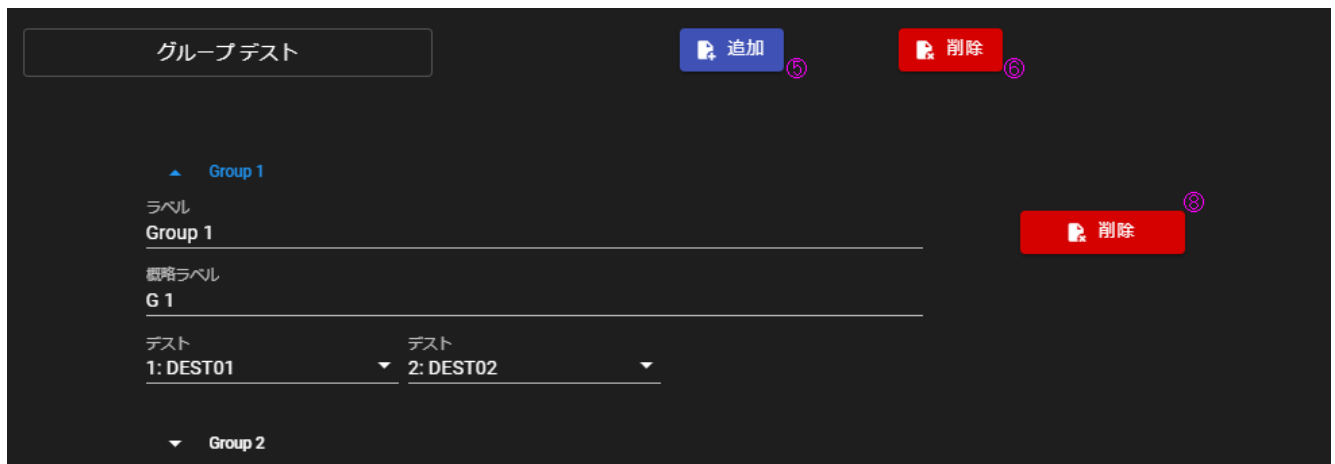


図 4-18 グループ デストの追加、設定画面

・削除ボタン⑧：

ラベル「Group 1」で表示されるグループ デストのみを削除するとき、このボタンを押下します。

・ラベル(グループ デスト)：

グループ デストのラベル名を設定します。**半角英数字 16 文字、漢字 8 文字**まで設定が可能です。

本ラベルは DualJog などの LCD 付きコントロールパネルのグループ デスト表示に使用します。

ラベルを変更すると、グループ ソース同様青字の「Group 1」も変更されます。

・概略ラベル(グループ デスト)：

グループ デストの概略ラベル名を設定します。**半角英数字 8 文字、漢字 4 文字**まで設定が可能です。

本ラベルは DualJog などの LCD 付きコントロールパネルのグループ デスト表示に使用します。

・デスト：

グループデストを構成するデストを選択します。

デストは同じデスト番号は選択できません。必ず異なるデスト番号を設定してください。

4-9. SG タブ

SG(Signal Generator)タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。

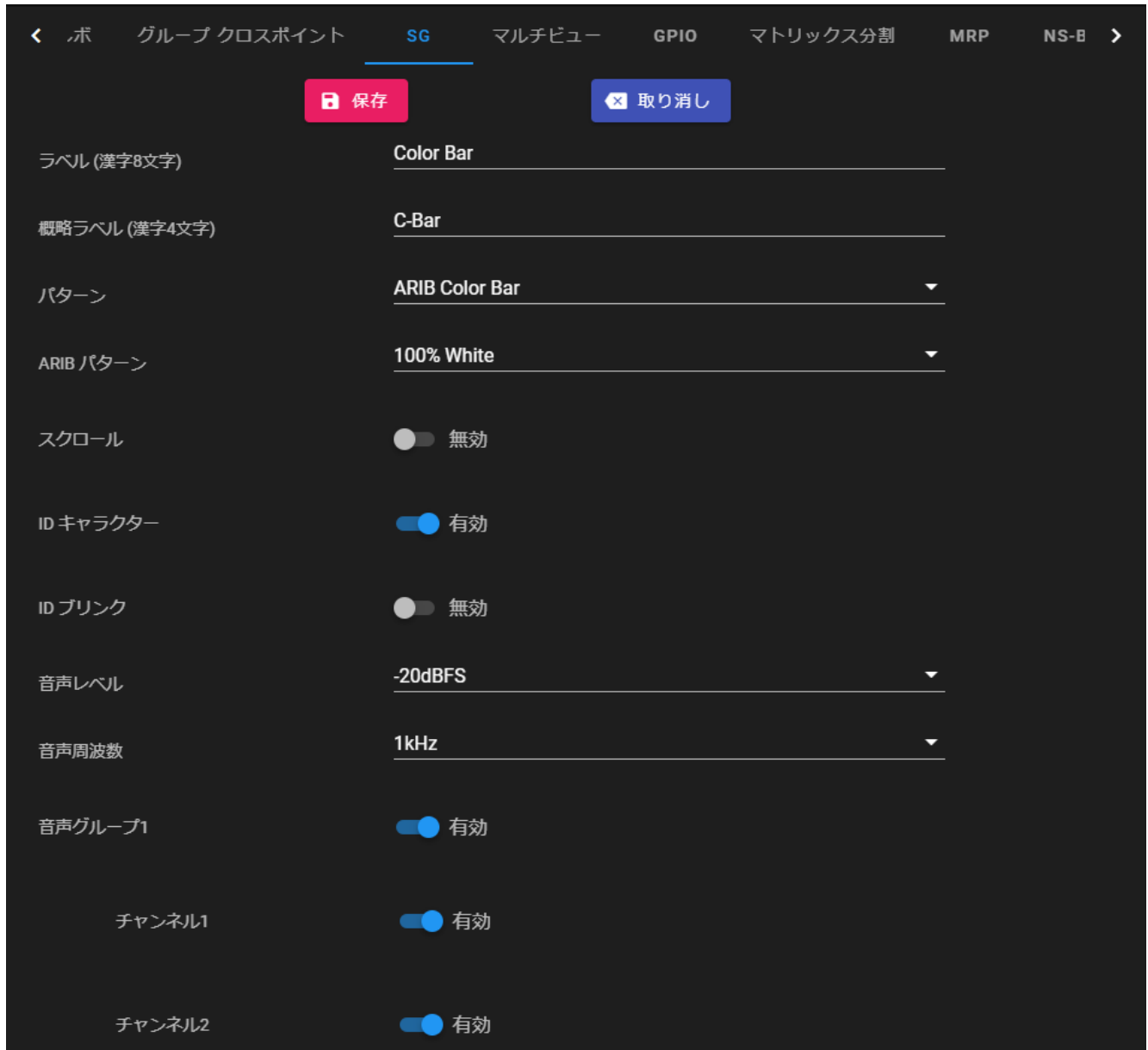


図 4-19 SG 設定画面

・保存ボタン：

ボタンを押下すると、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン：

ボタンを押下すると、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・ラベル(漢字 8 文字)：

コントロールパネルで SG を選択したときのラベル名称を設定します。**半角英数字 16 文字、漢字 8 文字**まで設定が可能です。

ラベルは DualJog などの LCD 付きコントロールパネルのグループ ソース表示に使用します。

概略ラベル(漢字 4 文字) :

コントロールパネルで SG を選択したときの概略ラベル名称を設定します。半角英数字 8 文字、漢字 4 文字まで設定が可能です。

本ラベルは DualJog などの LCD 付きコントロールパネルのグループ ソース表示に使用します。

・パターン :

以下の 6 種類のパタンから選択可能です。

1	ARIB Color Bar
2	100% Color Bar
3	75% Color Bar
4	SMPTE Color Bar
5	Black
6	White

・スクロール :

画像のスクロールの「有効」、「無効」を選択します。

・ID キャラクター :

ID キャラクター表示の「有効」、「無効」を選択します。

ID キャラクターは Gen モデル名固定です。

Gen1616-3G の場合は、「Gen1616-3G」と表示されます。

・ID ブリンク :

ID キャラクターのブリンク機能の「有効」、「無効」を選択します。

・音声レベル :

エンベデッド音声のレベルを「-20dBFS」、「-40dBFS」から選択します。

・音声周波数 :

エンベデッド音声の周波数を「1kHz」、「400Hz」から選択します。

・音声グループ、チャンネル :

音声グループ 1,2 の各チャンネルの「有効」、「無効」を選択します。

4-10. マルチビュー タブ

マルチビュー タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。



図 4-20 マルチビュー設定画面

・保存ボタン：

ボタンを押下すると、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン：

ボタンを押下すると、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・マルチビュー出力：

マルチビュー出力の「有効」、「無効」を選択します。

・マルチビューラベル(漢字 8 文字)：

コントロールパネルでマルチビューを選択したときのラベル名称を設定します。**半角英数字 16 文字**、**漢字 8 文字**まで設定が可能です。

本ラベルは DualJog などの LCD 付きコントロールパネルのグループ ソース表示に使用します。

・マルチビュー概略ラベル(漢字 4 文字)：

コントロールパネルでマルチビューを選択したときの概略ラベル名称を設定します。**半角英数字 8 文字、漢字 4 文字**まで設定が可能です。
本ラベルは DualJog などの LCD 付きコントロールパネルのグループ ソース表示に使用します。

・スキャンモード：

スキャン方式をインターレース、プログレッシブから選択します。

・ラベル位置設定：

Quad 1/4 Size	4 分割時のラベル位置高さをピクセル単位で指定します
10 Divisions 1/4 Size	10 分割時の 1/4 サイズのラベル位置高さをピクセル単位で指定します
10 Divisions 1/16 Size	10 分割時の 1/16 サイズのラベル位置高さをピクセル単位で指定します
16 Divisions 1/16 Size	16 分割時のラベル位置高さをピクセル単位で指定します
Custom 1/1 Size	カスタムの分割レイアウト時の設定です 現バージョンでは 1/1 サイズのみになっています

マルチビュープリセット名称

+ 追加

削除

Div4

↑

プリセット名称

Div4

分割区切り

☒ 有効

ラベルサイズ

Medium

分割レイアウト

Quad

☒

表示する映像

種別

Destination

▼

1: DEST01

▼

Rタリー条件

種別

None

▼

Gタリー条件

種別

None

▼

ラベル表示

☒ 有効

ラベル選択

Source

図 4-21 マルチビュープリセット設定画面

・マルチビュープリセット名称：

追加または削除したいマルチビュープリセット名称を入力して、追加ボタン、削除ボタンを押下してください。

・プリセット名称：

設定されているプリセット名称です。名称を変更する場合、変更後保存ボタンを押下してください。

・分割区切り：

分割の境界線区切りの有効・無効を切り替えます。有効にすると、分割境界に 4 画素/ 4 ラインの境界線を描画します。

有効な場合、表示画像は上下左右 4 画素/4 ライン分クリップされます。

・ラベルサイズ：

マルチビューにラベル表示を行う場合の文字サイズを「Large」、「Medium」、「Small」から選択します。

・**分割レイアウト：**

分割レイアウトを選びます。項目の下はレイアウト図で、選択した箇所に✓(チェック)マークが表示されます。

・**表示する映像：**

✓マークの選択箇所に表示する映像を Source、Destination を選択し、ソース/デストを選択します。

表示する映像に Destination を選択した場合、ラベル表示で Source、Destination を選択することができます。

・**R タリー条件：**

R タリーを表示する条件を指定します。例えば、Source, 1 を選ぶと、Source1 が映った時 R タリーが表示されます。

・**G タリー条件：**

G タリーを表示する条件を指定します。例えば、GPI, マルチビュータリー名称(事前登録したもの)を選ぶと、その GPI イベントが発生した時に G タリー表示されます。

・**ラベル表示：**

分割画面のラベル表示の有効・無効を切り替えます。

・**ラベル選択：**

表示する映像が「Destination」の場合「Source」、「Destination」から選択できます。

表示する映像が「Source」の場合は、「Source」のみ選択できます。

4-11. GPIO タブ

GPIO 搭載数はモデルごとに以下の通りです。

モデル	DSUB9	DSUB15-1	DSUB15-2	DSUB15-3
Gen1616-3G/12G/AES Gen1616-12G-Plain Gen3232-12G-Plain Gen1616-AES-Plain Gen3232-AES-Plain	○	×	×	×
Gen2424-3G/12G/AES Gen3232-3G/12G/AES Gen4848-AES Gen6464-AES	○	○	×	×
Gen4848-3G Gen6464-3G	○	○	○	×
Gen4848-12G Gen6464-12G Gen7272-12G	○ ※1	○	○	○

※1 DSUB9 は RS-232C 専用です。

GPIO タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。

DSUB9, DSUB15_1, DSUB15_2, DSUB15_3 の各ピンの設定が行えます。GPIO 数はモデルにより異なります。

また、機能はハードウェア仕様上選択可能なものに限定されており、ピンによって選択肢が異なります。

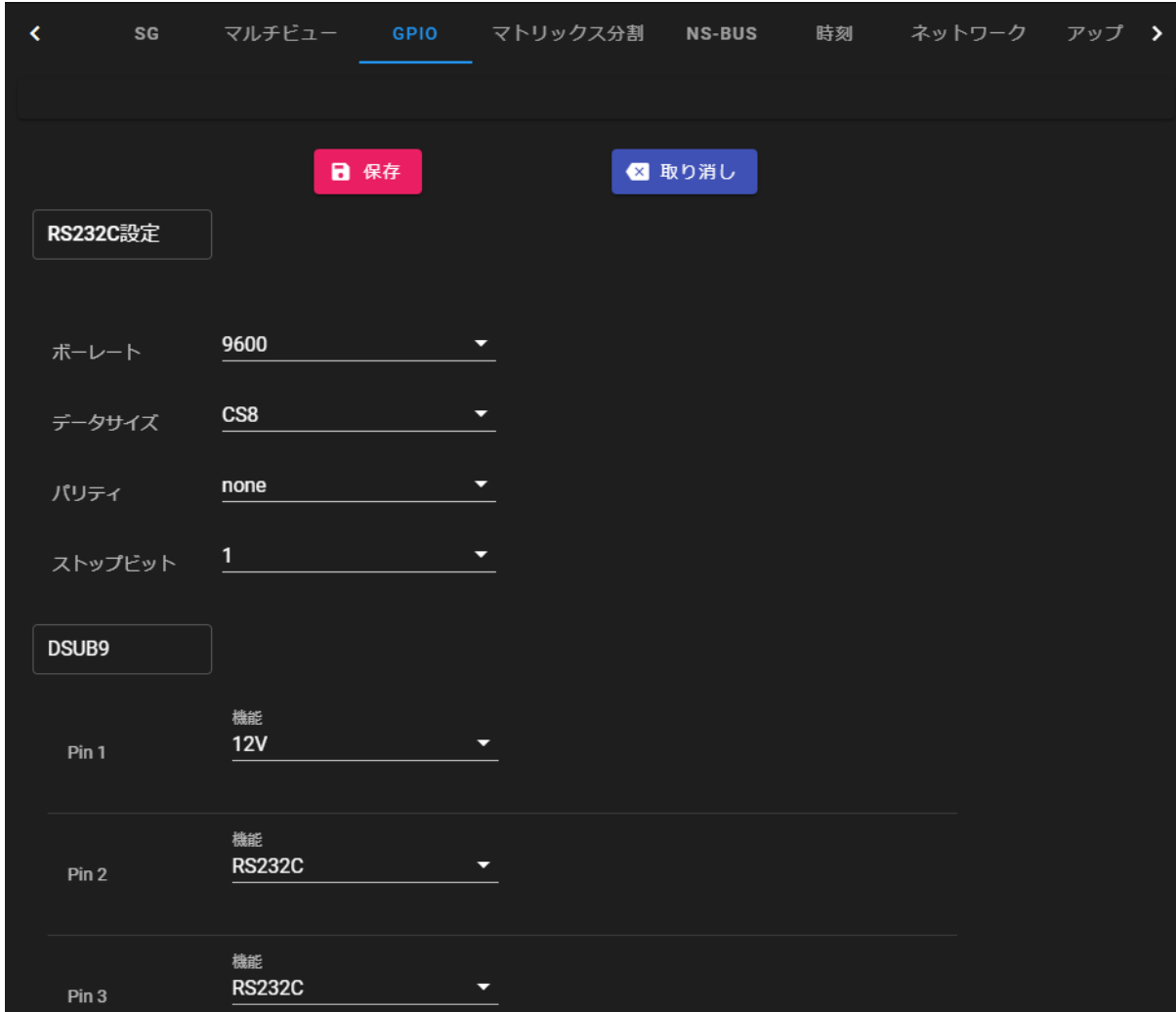


図 4-22 DSUB9 設定画面

・保存ボタン：

ボタンを押下すると、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン：

ボタンを押下すると、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・ボーレート設定：

RS-232C のボーレート(bps)設定を行います。

「2400」、「4800」、「9600」、「19200」、「38400」、「115200」から選択します。

RS-232C を利用するためには、Pin2、Pin3 を RS-232C に設定してください。

・データサイズ設定：

RS-232C のデータサイズ設定を行います。

「CS5」(5bit)、「CS6」(6bit)、「CS7」(7bit)、「CS8」(8bit)から選択します。

・パリティ設定：

RS-232C のパリティ設定を行います。

「none」、「even」、「odd」から選択します。

・ストップビット設定：

RS-232C のストップビット設定を行います。

「1」、「2」から選択します。

4 – 1 1 – 1. DSUB9-1 (Gen4848-12G、Gen6464-12G、Gen7272-12G 以外)

Gen4848-12G、Gen6464-12G、Gen7272-12Gを除く Gen の DSUB9 ピンの設定可能な機能は以下の通りです。

DSUB9	Status Out	Tally In	Tally Out	Salvo	Multiview Switch	12V	RS-232C
pin1	○	○	○	○	○	○	×
pin2	○	○	○	○	○	×	○ TX
pin3	○	○	○	○	○	×	○ RX
pin4	○	○	○	○	○	×	×
pin5	×	×	×	×	×	×	×
pin6	○	○	○	○	○	×	×
pin7	○	○	○	○	○	×	×
pin8	×	×	×	×	×	×	×
pin9	×	×	×	×	×	×	×

※pin2,pin3 は RS-232C で利用する場合、ストレートケーブルでの接続を想定しています。pin2 を RS-232C 設定する場合、pin3 も RS-232C に設定する必要があります。

※pin5: GND 固定です。

※pin8: ALM 出力固定です。

※pin9: ALM COM 固定です。

4 – 1 1 – 2. DSUB9-1 (Gen4848-12G、Gen6464-12G、Gen7272-12G)

Gen4848-12G、Gen6464-12G、Gen7272-12G の DSUB9 ピンの設定可能な機能は以下の通りです。

RS-232C 固定です。

DSUB9	Status Out	Tally In	Tally Out	Salvo	Multiview Switch	12V	RS-232C
pin1	×	×	×	×	×	×	×
pin2	×	×	×	×	×	×	○ TX
pin3	×	×	×	×	×	×	○ RX
pin4	×	×	×	×	×	×	×
pin5	×	×	×	×	×	×	×
pin6	×	×	×	×	×	×	×
pin7	×	×	×	×	×	×	×
pin8	×	×	×	×	×	×	×
pin9	×	×	×	×	×	×	×

Pin 1	機能 Tally In	▼	サブ機能 分配	▼	<input type="checkbox"/> Low Active
	分配先コネクタ GPIO2	▼	分配先のピン 2	▼	<input type="checkbox"/> レベルトリガー
Pin 2	機能 Tally Out	▼	サブ機能 分配出力	▼	<input type="checkbox"/> Low Active
					<input type="checkbox"/> レベル出力
Pin 3	機能 Tally In	▼	サブ機能 マルチビュータリー	▼	<input type="checkbox"/> Low Active
	Tally1				<input type="checkbox"/> レベルトリガー
Pin 4	機能 Salvo	▼	サブ機能 UnitMatrix	▼	<input type="checkbox"/> Low Active
					<input checked="" type="checkbox"/> エッジトリガー
Pin 5	機能 Multiview Switch	▼	サブ機能 UP	▼	<input type="checkbox"/> Low Active
					<input type="checkbox"/> レベルトリガー
Pin 6	機能 Multiview Switch	▼	サブ機能 JUMP	▼	<input type="checkbox"/> Low Active
	ジャンプ先 Multiview Preset1	▼			<input type="checkbox"/> レベルトリガー

図 4-23 DSUB15 設定画面

4 – 1 1 – 3. DSUB15-1、DSUB15-2

DSUB15-1 あるいは DSUB15-2 の設定可能な機能は以下の通りです。

DSUB15 -1,-2	Status Out	Tally In	Tally Out	Salvo	Multiview Switch	12V	RS-232C
pin1	○	○	○	○	○	×	×
pin2	○	○	○	○	○	×	×
pin3	○	○	○	○	○	×	×
pin4	○	○	○	○	○	×	×
pin5	○	○	○	○	○	×	×
pin6	○	○	○	○	○	×	×
pin7	○	○	○	○	○	×	×
pin8	○	○	○	○	○	×	×
pin9	○	○	○	○	○	×	×
pin10	○	○	○	○	○	×	×
pin11	○	×	○	×	×	×	×
pin12	○	×	○	×	×	×	×
pin13	○	×	○	×	×	×	×
pin14	○	×	○	×	×	×	×
pin15	○	×	○	×	×	×	×

4 – 1 1 – 4. DSUB15-3 (Gen4848-12G、Gen6464-12G、Gen7272-12G)

DSUB15-3 の設定可能な機能は以下の通りです。

DSUB15 -3	Status Out	Tally In	Tally Out	Salvo	Multiview Switch	12V	RS-232C
pin1	○	○	○	○	○	×	×
pin2	○	○	○	○	○	×	×
pin3	○	○	○	○	○	×	×
pin4	○	○	○	○	○	×	×
pin5	○	○	○	○	○	×	×
pin6	○	○	○	○	○	×	×
pin7	○	○	○	○	○	×	×
pin8	○	○	○	○	○	×	×
pin9	○	○	○	○	○	×	×
pin10	○	○	○	○	○	×	×
pin11	○	×	○	×	×	×	×
pin12	○	×	○	×	×	×	×
pin13	×	×	×	×	×	×	×
pin14	×	×	×	×	×	×	×
pin15	×	×	×	×	×	×	×

※pin13: ALM 出力固定です。

※pin14: ALM COM 固定です。

※pin15: GND 固定です。

4 - 1 1 - 5. Status Out



図 4-24 Status Out 設定画面

Gen ルーターの電源、あるいはファンに異常があるとき出力します。出力はエッジ/レベル選択と Low/High Active 選択が可能です。

4 - 1 1 - 6. Tally In

TallyIn は Pin 入力がアクティブなとき、サブ機能により動作を選択します。

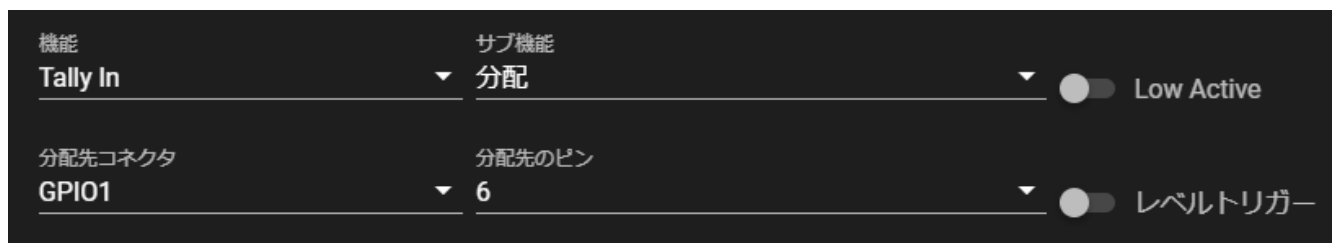


図 4-25 Tally In 設定画面

・分配:

Tally Out 信号として GPIO ピンに出力します。

ピンは複数選ぶことができます。

・マルチビュータリー:

R タリー、G タリーとして表示制御に利用することができます。

入力はエッジ/レベル選択と Low/High Active 選択が可能です。

4 - 1 1 - 7. Tally Out

Tally Out は、出力制御をサブ機能により動作を選択します。



図 4-26 Tally Out 設定画面

・分配出力:

Tally In の分配で指定されている場合、「分配出力」のみ選択可能です。

ルーターサルボの条件に一致したとき、出力します。

出力はエッジ/レベル選択と Low/High Active 選択が可能です。

4 - 1 1 - 8. Salvo

Salvo はルーターサルボを選択するもので、サブ機能でサルボ名称を選択します。

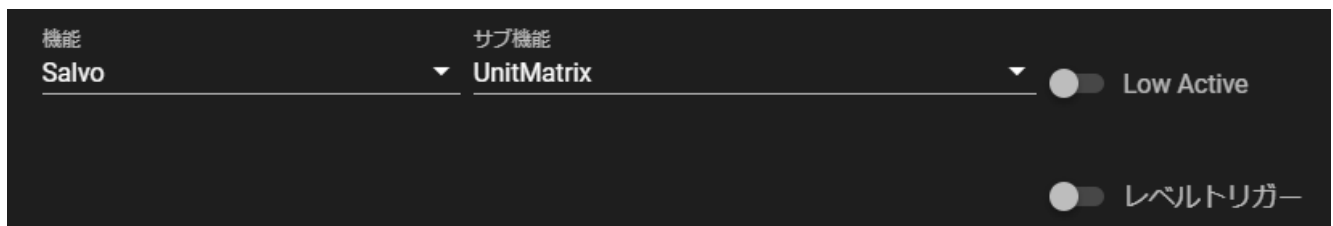


図 4-27 Router Salvo 設定画面

入力エッジ/レベル選択と Low/High Active 選択が可能です。

4 – 1 1 – 9. Multiview Switch

Multiview Switch はマルチビュー画面の Preset を変更するものです。



図 4-28 Multiview Switch 設定画面

・サブ機能：

以下の動作を選択します。

UP	次の Multiview Preset を表示します。最後の Preset 値にいる場合、最初の Preset 値になります
DOWN	前の Multiview Preset を表示します。最初の Preset 値にいる場合、最後の Preset 値になります
JUMPTO	指定された番号の Multiview Preset を表示します。Preset 数より大きな値を設定した場合、最後の Preset 値になります

入力はエッジ/レベル選択と Low/High Active 選択が可能です。

4-12. マトリックス分割 タブ

マトリックス分割タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。



図 4-29 マトリックス分割設定画面

・分割数：

Router を複数レイヤーに区切ることができます。現バージョンでは 1 のみ対応です。

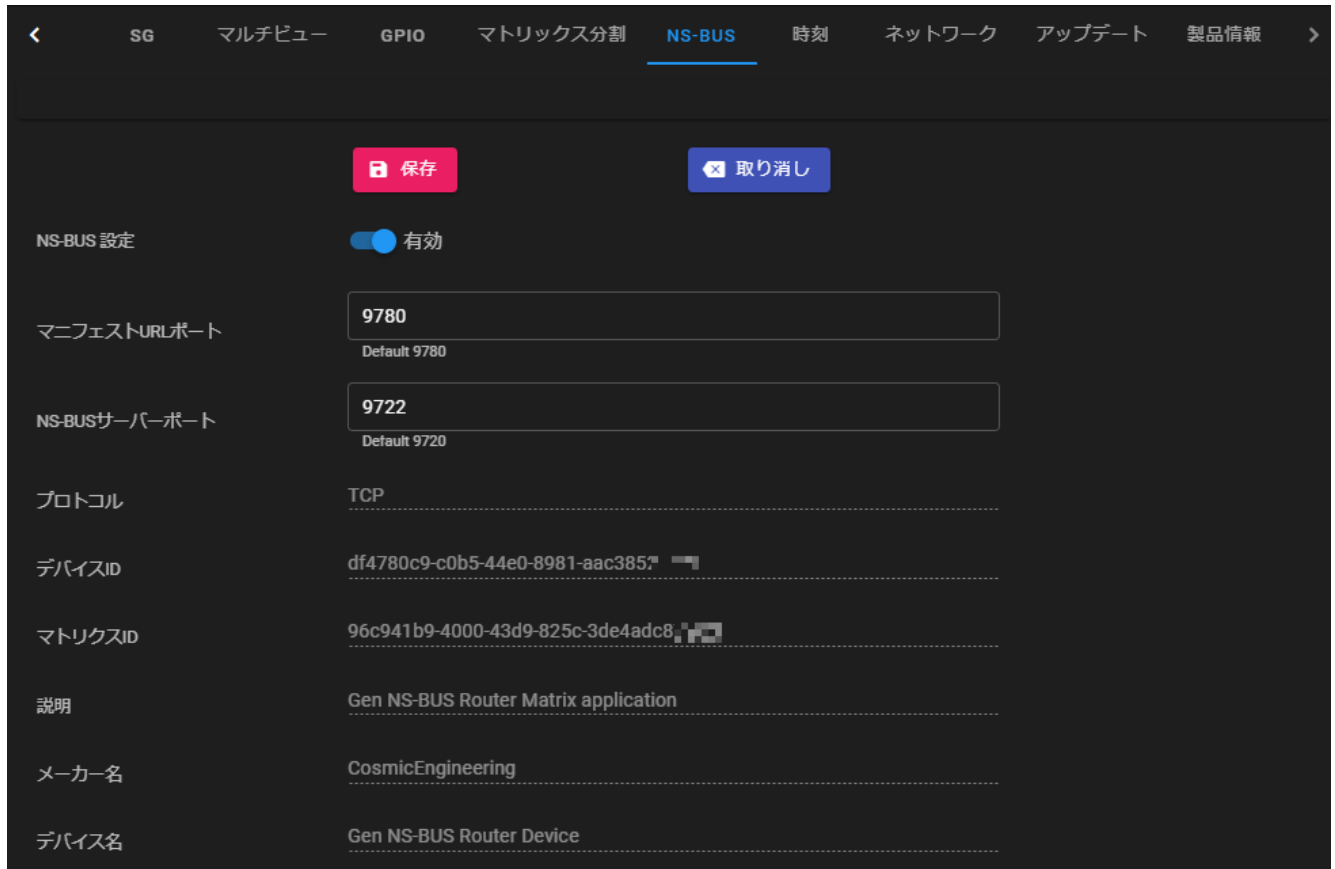
・レイヤー名 1:

レイヤー名称をつけます。半角英数字 16 文字、漢字 8 文字まで設定が可能です。

本ラベルは DualJog などの LCD 付きコントロールパネルの接続先表示に使用します。

4 - 1 3. NS-BUS タブ

NS-BUS タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。



The screenshot shows the NS-BUS settings page. At the top, there are navigation tabs: SG, マルチビュー, GPIO, マトリックス分割, **NS-BUS**, 時刻, ネットワーク, アップデート, 製品情報. Below the tabs, there are two buttons: 保存 (Save) and 取り消し (Cancel). The settings are as follows:

- NS-BUS 設定**: A toggle switch is turned on, labeled 有効 (Enabled).
- マニフェストURLポート**: Input field with value 9780. Below it, it says Default 9780.
- NS-BUSサーバーポート**: Input field with value 9722. Below it, it says Default 9720.
- プロトコル**: Input field with value TCP.
- デバイスID**: Input field with value df4780c9-c0b5-44e0-8981-aac3857. To the right is a copy icon.
- マトリクスID**: Input field with value 96c941b9-4000-43d9-825c-3de4adc8. To the right is a copy icon.
- 説明**: Input field with value Gen NS-BUS Router Matrix application.
- メーカー名**: Input field with value CosmicEngineering.
- デバイス名**: Input field with value Gen NS-BUS Router Device.

図 4-30 NS-BUS 設定画面

・NS-BUS 設定 :

NS-BUS を利用する場合、有効に設定してください。

・マニフェスト URL ポート :

NS-BUS のマニフェストファイルを取得するポート番号を指定します。

・NS-BUS サーバーポート :

NS-BUS LSM と Gen ルーターの通信ポートを設定します。

・プロトコル :

TCP のみ対応します。

・デバイス ID:

Gen ルーターの UUID です。予め個体ごとに異なる値が設定されています。

・マトリクス ID:

GenWEB 設定

Gen ルーターのレイヤーの UUID です。予め個体、レイヤーごとに異なる値が設定されています。

・説明：

・メーカー名：

・デバイス名：

NS-BUS 接続時に、LSM(Live System Manager Station)に通知する Gen ルーターの諸元です。

4-14. 時刻 タブ

時刻タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。



図 4-31 時刻設定画面

・保存ボタン：

ボタンを押下すると、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン：

ボタンを押下すると、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・方式：

「NTP」、「LTC」、「LTC-with-date」から選びます。

・NTP サーバー：

方式に「NTP」を選択した場合、使用する NTP サーバーを指定します。

・LTC ソース：

方式に「LTC」、「LTC-with-date」を選択した場合、時刻検出を行う SRC を選択します。

・日付フォーマット：

方式に「LTC-with-date」を選択した場合、日付 Format を「Leitch」、「SMPTE ST309」から選択します。

・GEN に設定ボタン：

GenWEB 設定

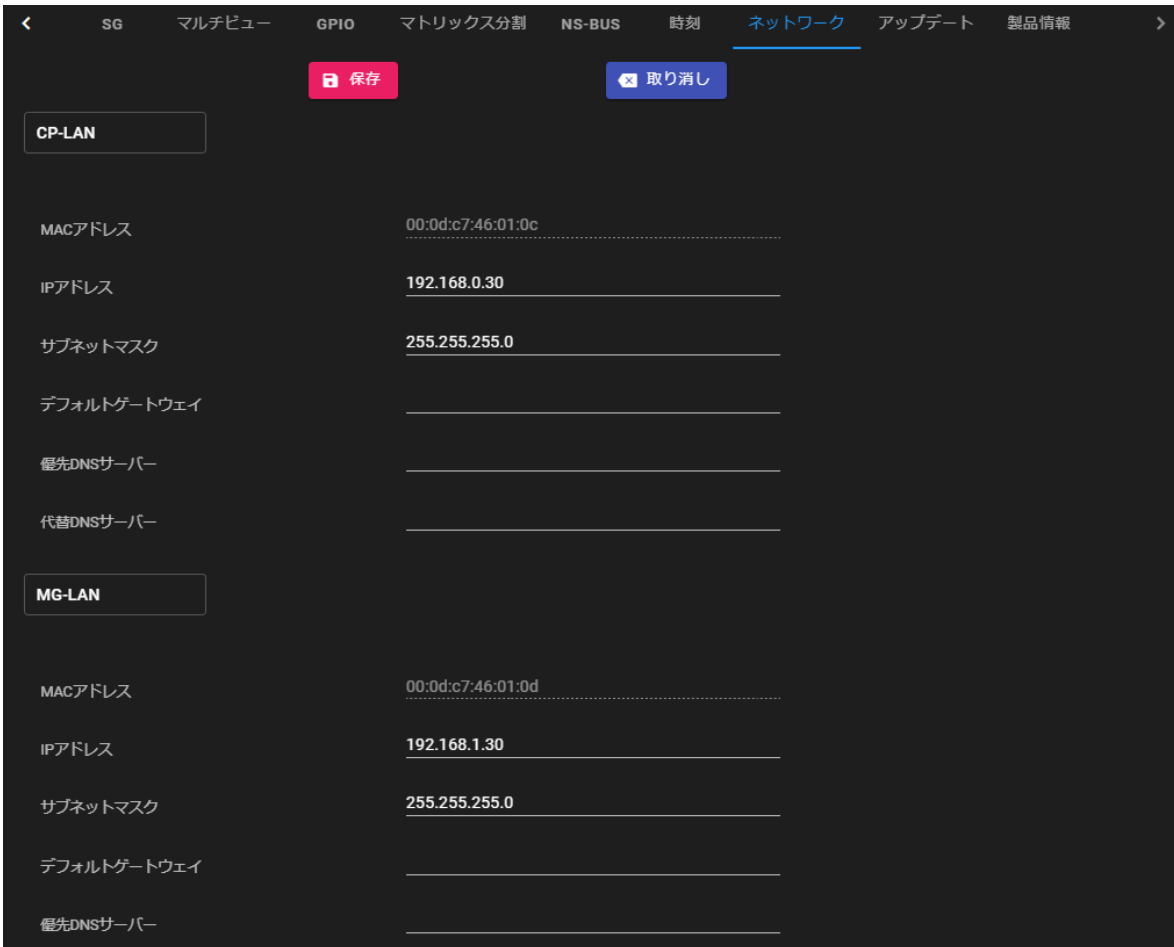
ボタンを押下すると、ボタン下の設定時刻を Gen に設定します。

・**現在時刻取得ボタン**：

ボタンを押下すると、PC の現在時刻を設定時刻項目にコピーします。

4-15. ネットワーク タブ

ネットワーク タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。



The screenshot shows a mobile application interface for network settings. At the top, there is a navigation bar with tabs: SG, マルチビュー, GPIO, マトリックス分割, NS-BUS, 時刻, ネットワーク (selected), アップデート, and 製品情報. Below the navigation bar, there are two buttons: a red '保存' (Save) button and a blue '取り消し' (Cancel) button. The main content area is divided into two sections: 'CP-LAN' and 'MG-LAN'. Each section contains a list of network configuration fields with their current values:

Field	CP-LAN Value	MG-LAN Value
MACアドレス	00:0d:c7:46:01:0c	00:0d:c7:46:01:0d
IPアドレス	192.168.0.30	192.168.1.30
サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ		
優先DNSサーバー		
代替DNSサーバー		

図 4-32 ネットワーク設定画面

CP-LAN, MG-LAN のネットワーク設定を行うことができます。

設定を変更し、保存ボタンを押下すると本体に保存されネットワーク設定を再設定します。

保存・適用には数秒間かかり、その間イーサネットを使用した通信はできなくなります。

MG-LAN の IP アドレスを変更した場合、保存後は新しい IP アドレスを指定し接続しなおす必要があります。

また、保存せずに取り消しボタンを押下すると現在の設定値に戻ります。

4 - 1 6. アップデート タブ

アップデート タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。

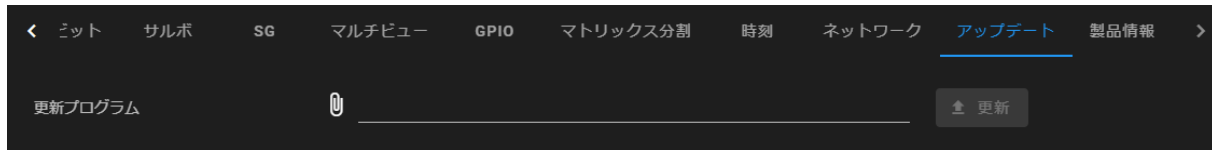


図 4 -33 アップデート設定画面

・更新プログラム：

アップデートに使用するファイルを選んで、更新ボタンを押下するとプログラムが更新されます。

FPGA のアップデートの場合、数分かかります。

4 - 17. 製品情報 タブ

製品情報 タブを押下すると、以下のタブが表示されます。



図 4-34 製品情報 画面

・製品名：

製品名が表示されます。

・シリアル番号：

製品シリアル番号が表示されます。

・ハードウェア：

ハードウェア バージョンが表示されます。

・ファームウェア：

ファームウェア バージョンが表示されます。

・HTTP サーバー：

HTTP サーバーソフトウェア バージョンが表示されます。

・WEB コントロール：

WEB コントロールソフトウェア バージョンが表示されます。

5. オーディオ系ルーターの設定

オーディオ系ルーターでは、ステータスタブ、入力ステータスタブ、一般タブ、SG タブ、レート変換タブがビデオ系ルーターと異なりますが、それ以外はビデオ系ルーターと同じ内容が表示されます。

5 - 1. ステータス タブ

ステータス タブを押下すると、以下のタブが表示されます。



図 5-1 オーディオ系ルーター：ステータス 画面

オーディオ系ルーターは全機種ファン非搭載のため、ファン項目はありません。そのため、コントロールパネルの ALM LED も点灯しません。

- ・電源 A,B : 電源 A,B の 12V 出力の状態と出力電圧値を表示します。
- ・CPU 温度 : 搭載 CPU の温度状態と温度を表示します。
- ・FPGA 温度 : 制御 FPGA (搭載デバイス) のチップ内温度の状態と、温度を表示します。

5 - 2. 入力ステータス タブ

入力ステータス タブを押下すると、以下のタブが表示されます。

<div> < ステータス <u>入力ステータス</u> クロスポイント 一般 ラベル インヒビット サルボ SG レート変換 GPII > </div>			
入力		ステータス	フォーマット
AES-layer1	Reference	Lock	525159
	1: Source01	Lock	48kHz
	2: Source02	Lock	48kHz
	3: Source03	Lock	48kHz
	4: Source04	Lock	48kHz
	5: Source05	Unlock	—
	6: Source06	Unlock	—
	7: Source07	Unlock	—
	8: Source08	Unlock	—

図 5-2 オーディオ系ルーター:入力ステータス画面

リファレンス入力、ソース入力の状態を表示します。

リファレンス入力は BB/TriSync 入力時は、ビデオフォーマットを表示し、DARS 入力時は DARS サンプリング周波数を表示します。

それぞれ、信号にロックした場合は Lock、ロックできなかったときは Unlock と表示されます。

ソース入力は、サンプリング周波数と、AES/EBU 信号の Lock/Unlock 状態を表示します。

5 - 3. 一般 タブ

一般 タブを押下すると、以下のタブが表示されます。

SNMP 設定/設定のバックアップ・復元、ログ取得についてはビデオ系ルーターを参照してください。



図 5-3 オーディオ系ルーター：一般設定画面

・ルーター名称：

ルーター名称が設定できます。初期設定値は、ルーターモデル名 + MAC アドレス下位 2 桁です。

・ルーターID：

ルーターの ID を設定します。

Gen システムでのルーターID は、ルーターの識別子として使用されますので、同じネットワーク内では、重複しない ID を設定します。

設定できる ID は 0～5 で、初期設定は 0 です。

設定変更後、保存ボタンを押下することにより、ルーターに設定が保存されます。

・サンプリング周波数：

同期モード時のサンプリング周波数を設定します。

設定できるサンプリング周波数は「48kHz」、「96kHz」です。

リファレンスが DARS の場合は、出力サンプリング周波数は DARS と同じ周波数になりますが、60kHz 以下では「48kHz」に、60kHz を越える場合は「96kHz」に設定してください。

・切替モード：(Plain 以外の AES ルーター)

「同期モード」、「非同期モード」を選択します。

「非同期モード」は、入力された信号を単純に切り替えるためノイズが出力されることがあります。

「同期モード」では、全ての入力をデコードし、クロスポイント切替時に、フェードアウト処理を行い、無音になった状態で信号を切り替え、フェードイン処理を行います。

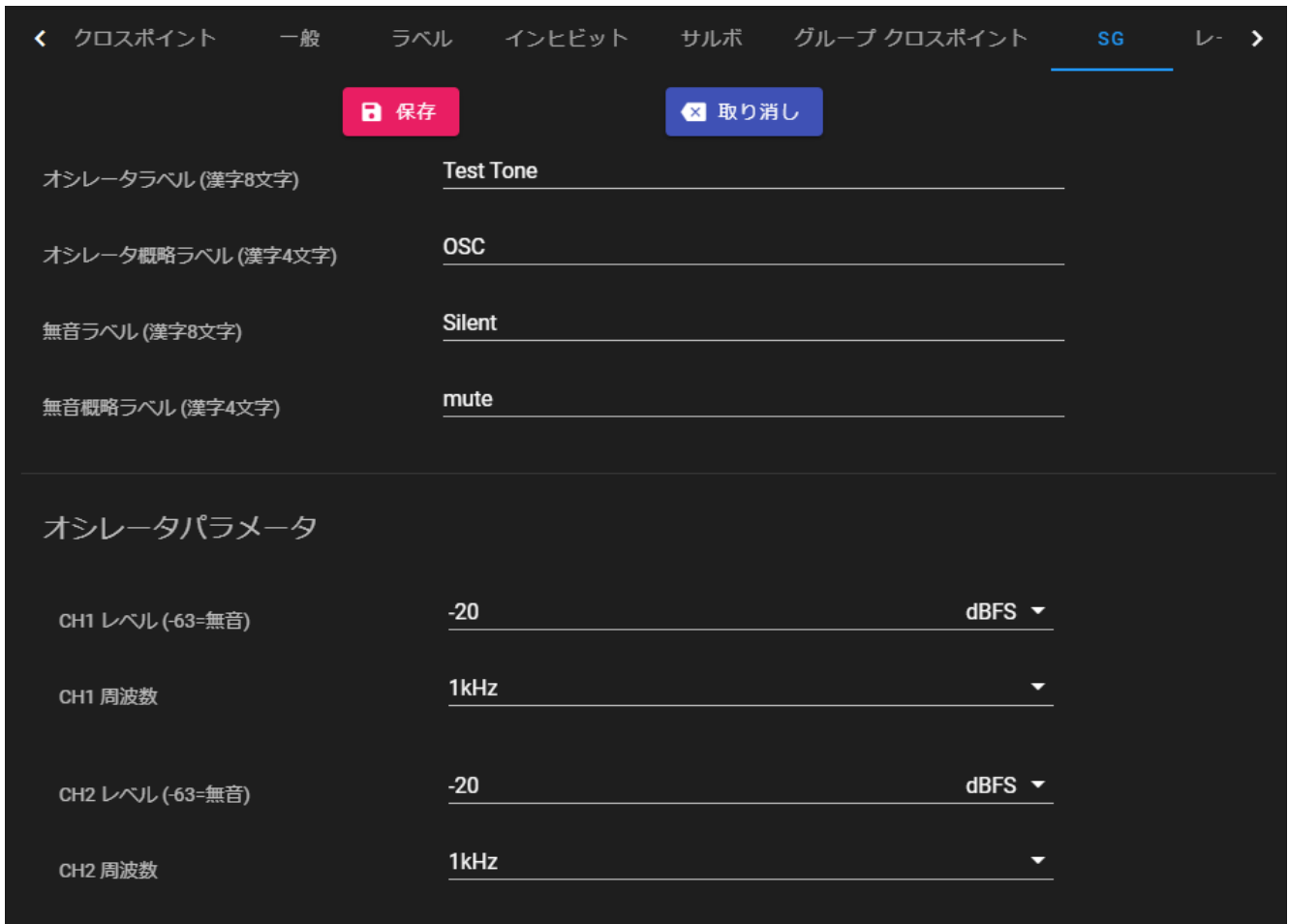
このため、切り替え時ノイズが発生しません。同期モードではすべての入力がリファレンス信号に同期している必要があります。

レート変換回路が 16 回路搭載されていますので非同期信号はレート変換回路を有効にすることで同期化することができます。

レート変換の設定についてはレート変換タブを参照してください。

5 - 4. SG タブ

SG タブを押下すると、以下のタブが表示されます。



ラベル	値
オシレータラベル (漢字8文字)	Test Tone
オシレータ概略ラベル (漢字4文字)	OSC
無音ラベル (漢字8文字)	Silent
無音概略ラベル (漢字4文字)	mute

オシレータパラメータ		
CH1 レベル (-63=無音)	-20	dBFS ▼
CH1 周波数	1kHz	▼
CH2 レベル (-63=無音)	-20	dBFS ▼
CH2 周波数	1kHz	▼

図 5-4 オーディオ系ルーター：SG 設定画面

・オシレータラベル(漢字 8 文字)：

コントロールパネルで SG を選択したときのラベル名称を設定します。半角英数字 16 文字、漢字 8 文字まで設定が可能です。

・オシレータ概略ラベル(漢字 4 文字)：

コントロールパネルで SG を選択したときの概略ラベル名称を設定します。半角英数字 8 文字、漢字 4 文字まで設定が可能です。

・無音ラベル(漢字 8 文字)：

コントロールパネルで無音を選択したときのラベル名称を設定します。半角英数字 16 文字、漢字 8 文字まで設定が可能です。

・無音概略ラベル(漢字 4 文字)：

コントロールパネルで無音を選択したときの概略ラベル名称を設定します。半角英数字 8 文字、漢字 4 文字まで設定が可能です。

・CH1 レベル :

-63～0 dBFS の範囲で選択できます。**-63 を選択するとミュートになります。**

・CH1 周波数 :

「400Hz」、「800Hz」、「1kHz」、「2kHz」から選択可能です。

・CH2 レベル :

-63～0 dBFS の範囲で選択できます。**-63 を選択するとミュートになります。**

・CH2 周波数 :

「400Hz」、「800Hz」、「1kHz」、「2kHz」から選択可能です。

5 - 5. レート変換 タブ

レート変換 タブを押下すると、以下のタブが表示されます。



ソース	レート変換
1: Source01	<input checked="" type="checkbox"/>
2: Source02	<input checked="" type="checkbox"/>
3: Source03	<input checked="" type="checkbox"/>
4: Source04	<input checked="" type="checkbox"/>
5: Source05	<input type="checkbox"/>
6: Source06	<input type="checkbox"/>
7: Source07	<input type="checkbox"/>
8: Source08	<input type="checkbox"/>
9: Source09	<input type="checkbox"/>
10: Source10	<input type="checkbox"/>
11: Source11	<input type="checkbox"/>
12: Source12	<input type="checkbox"/>
13: Source13	<input type="checkbox"/>
14: Source14	<input type="checkbox"/>
15: Source15	<input type="checkbox"/>
16: Source16	<input type="checkbox"/>

図 5-5 オーディオ系ルーター:レート変換設定画面

・保存ボタン：

ボタンを押下すると、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン：

ボタンを押下すると、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

レート変換を行うソースを押下することによりレート変換を有効に設定します。

✓マークが入っているソースがレート変換有効で、チェックマークの入っていないソースはレート変換が無効に設定されています。

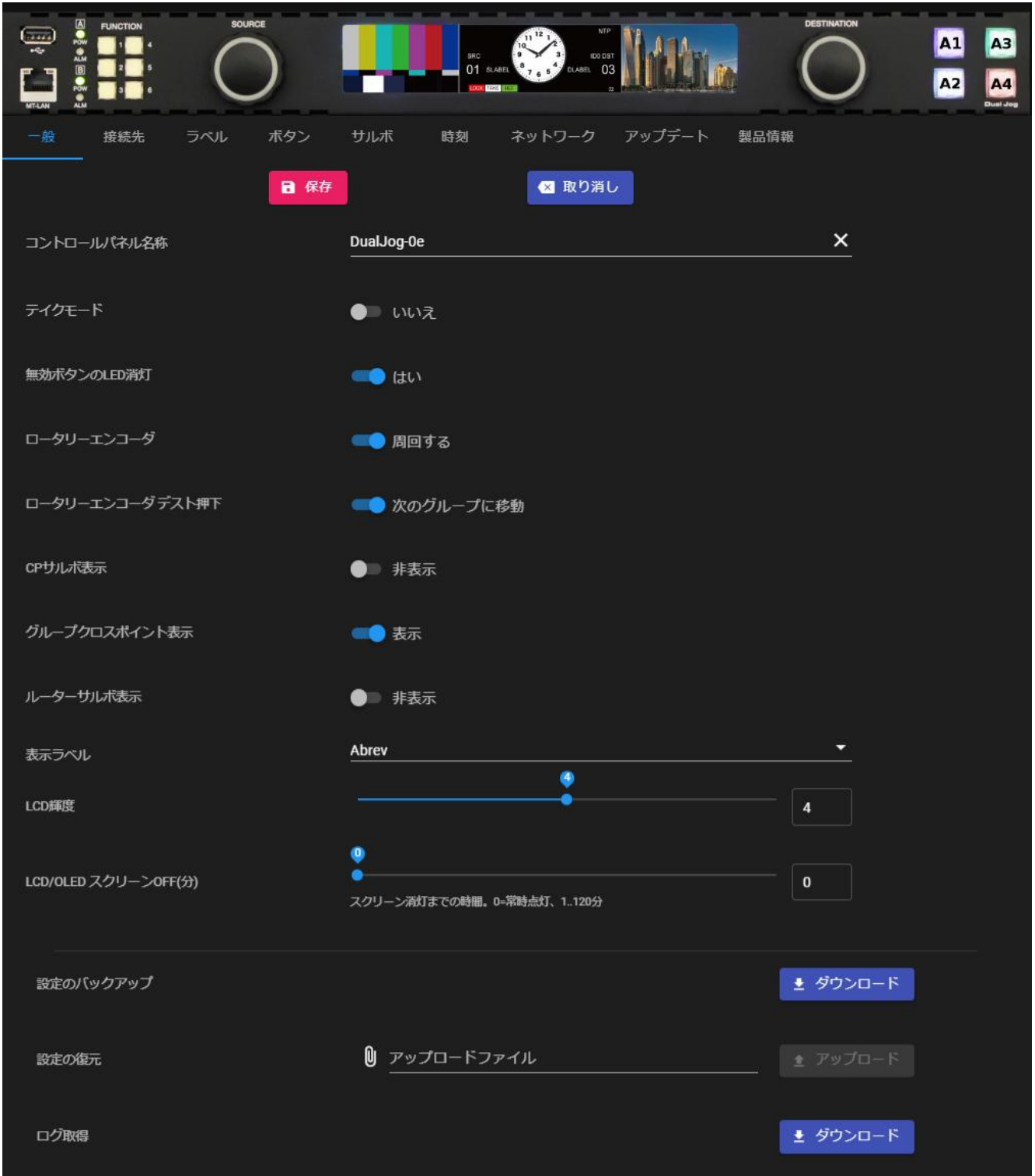
レート変換は最大 16 ソースまで設定できます。

6. コントロールパネルの設定

例は DualJog ですが、LCD16、LCD32、TT32、TTDualJog、Standard32、Standard16、TT8 が同様に設定可能です。

6-1. 一般 タブ

一般 タブを押下すると、DualJog の場合、以下のタブが表示されます。



一般 接続先 ラベル ボタン サルボ 時刻 ネットワーク アップデート 製品情報

保存 **取り消し**

コントロールパネル名称 DualJog-0e ×

テイクモード ☐ いいえ

無効ボタンのLED消灯 ☒ はい

ロータリーエンコーダ ☒ 周回する

ロータリーエンコーダデスト押下 ☒ 次のグループに移動

CPサルボ表示 ☐ 非表示

グループクロスポイント表示 ☒ 表示

ルーターサルボ表示 ☐ 非表示

表示ラベル Abrev

LCD輝度 4

LCD/OLED スクリーンOFF(分) 0
スクリーン消灯までの時間。0=常時点灯、1..120分

設定のバックアップ **ダウンロード**

設定の復元 アップロードファイル **アップロード**

ログ取得 **ダウンロード**

図 6-1 DualJog 一般設定画面

・保存ボタン：

GenWEB 設定

58/76

93-10165-11

ボタンを押下すると、対象の機器に変更設定を反映させます。

・取り消しボタン：

ボタンを押下すると、このタブでの変更が廃棄され、現在の設定に戻ります。

・コントロールパネル名称：

コントロールパネルに任意の名前をつけることができます。半角英数字 16 文字、漢字 8 文字の範囲で設定してください。

初期設定値はモデル名称 + MAC アドレス下位 2 桁です。

・テイクモード：

「はい」を選択したとき、TAKE ボタンを押下することによりルーターに未発行のクロスポイントコマンドを送信します。

複数のクロスポイント設定変更し、まとめて切り替えることができます。

「いいえ」を選択するとルーターのクロスポイント設定変更した時点でクロスポイントコマンドを送信します。

ロータリーエンコーダで Source、Destination を選択するコントロールパネルの場合、左側のロータリーエンコーダで Source を選択し、押下するとクロスポイントコマンドが送信されます。

TAKE モードが有効なとき、LCD 搭載のコントロールパネルは画面上に「TAKE」が表示されます。

・無効ボタンの LED 消灯：

「はい」を選択すると、押下しても機能しないボタンが消灯されます。

例えば、パネルロックを設定すると、パネルロック解除と現在有効な設定のボタン以外は消灯します。

・ロータリーエンコーダ (DualJog/TTDualJog)：

Source、Destination のロータリーエンコーダがそれぞれの最初、最後にあるときの動作設定を行います。

「周回する」のとき、最初→最後、最後→最初と Source、Destination 番号が周回します。

「終端で止まる」のときは、周回はしません。

・ロータリーエンコーダ デスト押下(DualJog/TTDualJog)：

Destination のロータリーエンコーダ押下時の動作設定を行います。

「現デストの要求削除」のとき、テイクモードで現在未発行のクロスポイントコマンドがある場合、キャンセルします。

「次のグループに移動」のとき、接続先 1 のクロスポイント設定、接続先 1 のルーターサルボ設定、接続先 2 のクロスポイント設定、接続先 2 のルーターサルボ設定、DualJog の CP サルボ設定の順でグループを移動します。

CP サルボ表示、ルーターサルボ表示がない場合、それぞれのグループはロータリーエンコーダには表示されません。

・CP サルボ表示(DualJog/TTDualJog)：

「表示しない」のとき、ロータリーエンコーダで CP サルボリストを表示しません。

「表示する」のとき、ロータリーエンコーダで CP サルボリストを表示します。

・グループクロスポイント表示(DualJog/TTDualJog)：

「表示しない」のとき、ロータリーエンコーダでグループ クロスポイント選択を表示しません。

「表示する」のとき、ロータリーエンコーダでグループ クロスポイントを表示します。

グループ クロスポイントの表示は接続ルーターのグループ クロスポイントの LINK 数、ソース順、デスト順に表示されます。

・ルーターサルボ表示(DualJog/TTDualJog)：

「表示しない」のとき、ロータリーエンコーダでルーターサルボリストを表示しません。

「表示する」のとき、ロータリーエンコーダでルーターサルボリストを表示します。

コントロールパネルが複数のルーターに接続されている場合、全てのルーターの表示を行わないか、行うかの設定となります。

個別のルーターごとに表示設定はできません。

・表示ラベル：

クロスポイント一覧表示モードのときの表示設定を行います。

Number	SRC、DEST の番号で表します
Abbrev	概略ラベルで表します 半角英数字 8 文字、漢字 4 文字まで利用可能です
Normal	ラベルで表します 半角英数字 16 文字、漢字 8 文字まで利用可能です

・LCD 輝度：

LCD の明るさを 1 ～ 8 の 8 段階で調整します。1 が最も暗く、8 が最も明るくなります。

・LCD/OLED スクリーン OFF(分)：

最後に操作をしてから、指定分後に LCD/OLED 表示を OFF にします。0 は常時点灯、1～120 分の間で設定することが可能です。

スクリーン OFF のとき、ロータリーエンコーダやボタンを操作すると、点灯状態に戻ります。

・設定のバックアップ：

現在のコントロールパネル設定を保存します。

・設定の復元：

設定のバックアップで保存されたファイルを用いて、設定を復元します。ファイル選択後、アップロードボタンを押してください。

・ログ取得：

コントロールパネルから発行したコマンドや内部設定変更のログが取得できます。

コントロールパネルのログは揮発メモリ上で保存しているため、電源 on/off やリブートで消失します。

6 - 2. 接続先 タブ

接続先 タブを押下すると、以下の画面が表示されます。



一般 **接続先** ラベル ボタン サルボ 時刻 ネットワーク アップデート 製品情報

追加するルーター + 追加

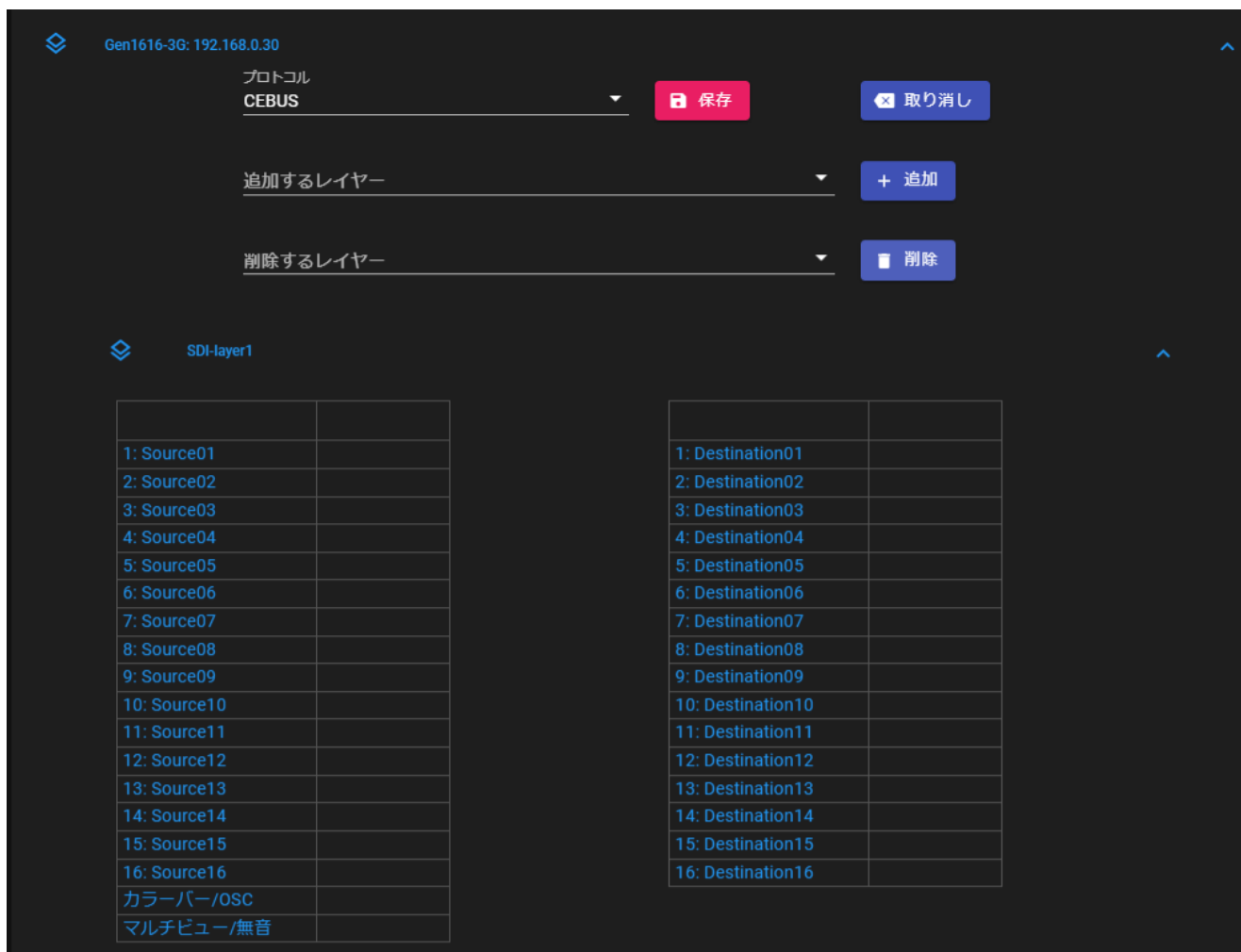
削除するルーター 削除

- Gen1616-3G: 192.168.0.30
- Gen3232-AES: 192.168.0.31

図 6-2 接続先設定画面 1

追加するルーター選択し、追加ボタンを押下するとルーターが追加され、削除するルーターを選択し、削除ボタンを押下するとルーターが削除されます。

追加したルーターを押下するとルーターの詳細設定画面が表示されます。



Gen1616-3G: 192.168.0.30

プロトコル
CEBUS 保存 取り消し

追加するレイヤー + 追加

削除するレイヤー 削除

SDI-layer1

1: Source01	
2: Source02	
3: Source03	
4: Source04	
5: Source05	
6: Source06	
7: Source07	
8: Source08	
9: Source09	
10: Source10	
11: Source11	
12: Source12	
13: Source13	
14: Source14	
15: Source15	
16: Source16	
カラーバー/OSC	
マルチビュー/無音	

1: Destination01	
2: Destination02	
3: Destination03	
4: Destination04	
5: Destination05	
6: Destination06	
7: Destination07	
8: Destination08	
9: Destination09	
10: Destination10	
11: Destination11	
12: Destination12	
13: Destination13	
14: Destination14	
15: Destination15	
16: Destination16	

図 6-3 接続先設定画面 2

・**プロトコル**：

接続先ルーターとのプロトコルを指定します。

Gen ルーター、コントロールパネルの通信プロトコルである CEBUS のみ選択できます。

・**レイヤー**：

指定レイヤーのソース、Destination に対して本コントロールパネルからの操作をインビット（禁止）設定することができます。

インビットに設定する、ソース番号、Destination 番号を押下し、インビット設定にし、再度押下することによりインビット設定を解除できます。

6 - 3. ラベル タブ

ラベル タブを押下すると、以下の画面が表示されます。

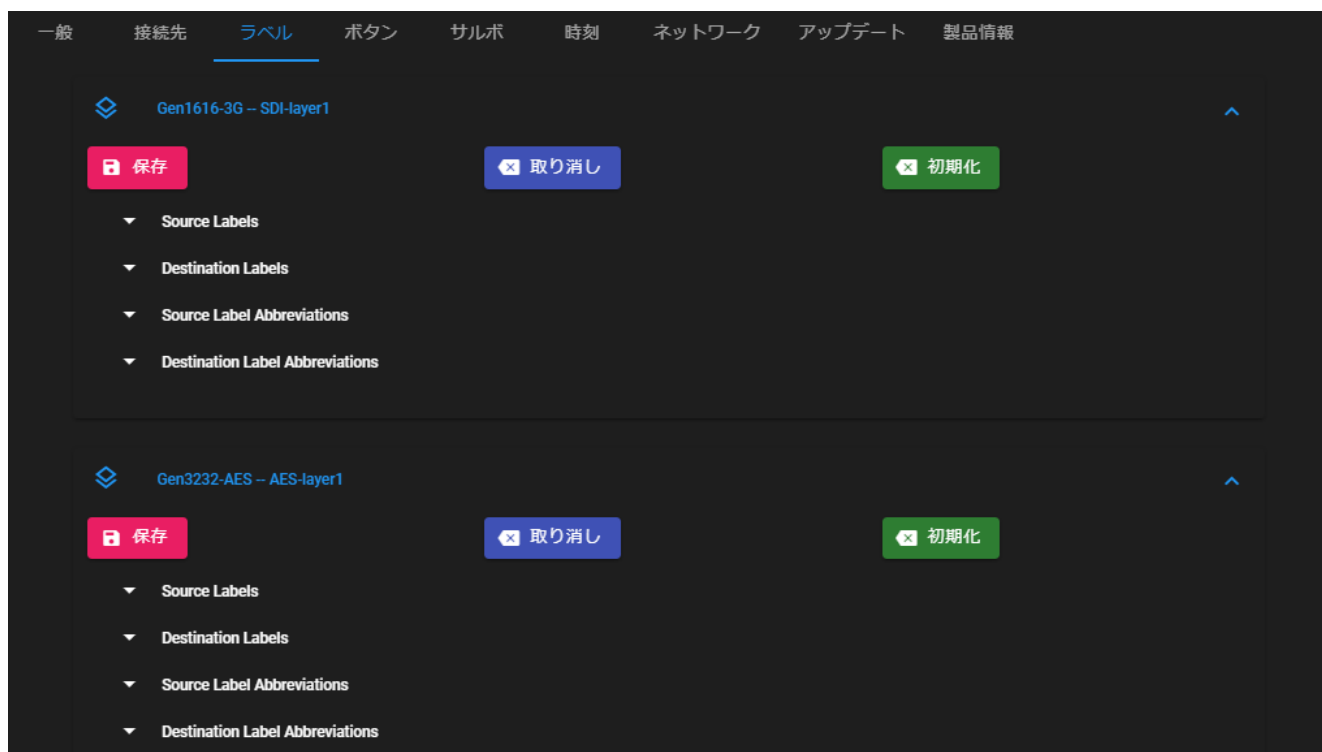


図 6-4 ラベル設定画面

- ・ルーターのラベル設定と同様の設定ができます。
- ・コントロールパネルでラベル設定を行った場合、ルーターのラベル設定より優先して使用されます。

6-4. ボタン タブ

ボタン タブを押下すると、以下のタブが表示されます。

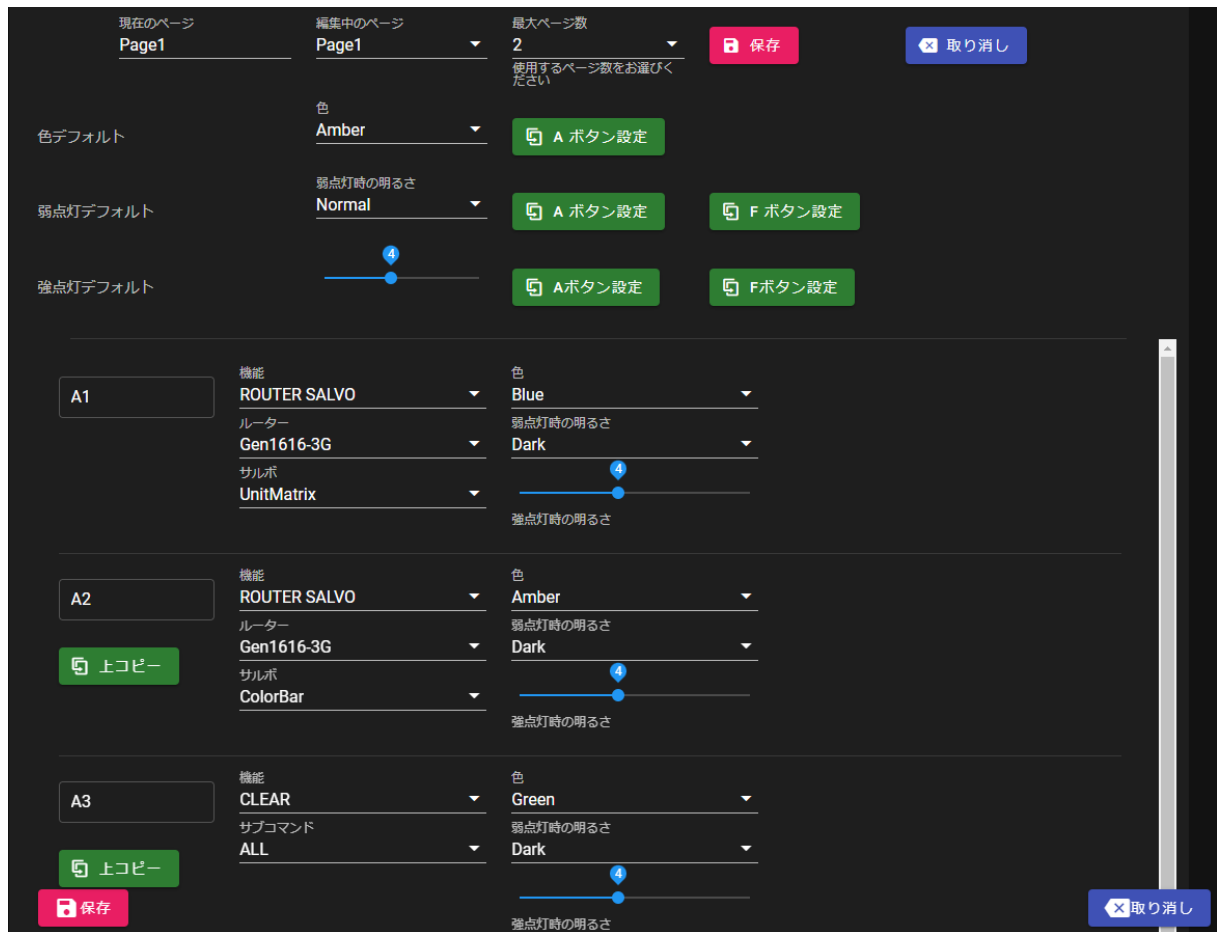


図 6-5 ボタン設定画面

現在のページにコントロールパネルの現在のページ番号が表示されます。

まず、最大ページ数に本コントロールパネルで使用するページ数を選択します。

次に編集集中のページに、設定するページを選択し、各ボタンの設定をページごとに行います。

取り消しボタンを押下すると、保存前の設定状態に戻ります。

設定変更後、保存ボタンを押下することにより、コントロールパネルに設定が保存されます。

・色デフォルト：

・弱点灯デフォルト：

・強点灯デフォルト：

A ボタン群、B ボタン群、F ボタン群などのデフォルト設定を行うものです。

色デフォルト Amber を指定し、A ボタン設定を押下すると、A ボタン全ての色が Amber に変更されます。

変更を反映させるためには、保存ボタンを押下してください。

・上コピーボタン：

GenWEB 設定

上のボタン設定をコピーするものです。A2 ボタン下の上コピーボタンを押下すると、A1 ボタンの内容がコピーされます。

設定を反映させるためには、保存ボタンを押下してください。

・機能

各ボタンに対して設定できる機能一覧を以下に示します。

機能	内容
NONE	割り当て機能なし
BUS	指定 Destination に指定ソースを割り当てます。ルーター、レイヤー、LINK 数、Source、Destination を設定します。Source、Destination はルーターのラベル名が番号と共に表示されます。
CP SALVO	指定したコンパネサルボを実行します。登録されているサルボ名を設定します。
ROUTER SALVO	指定したルーターサルボを実行します。ルーターID、登録されているサルボ名を設定します。
DEST N	Destination 番号を指定。
SRC N	ソース番号を指定。
DEST	NUMBER で設定されたボタンを Destination に割り当てます。
SRC	NUMBER で設定されたボタンを Source に割り当てます。
NUMBER	Source 番号、又は、Destination 番号を指定します。 この機能を利用する場合、別途、SRC、DEST 機能をいずれかのボタンに割り当てることが必要です。 また、NUMBER を指定した場合、ボタン色、明るさの設定は SRC、DEST の設定に準拠します。 例えば、SRC に Amber を選択している場合、SRC ボタンを押下すると、全ての NUMBER ボタンは全て Amber になります。
CLEAR	操作をクリアします。全操作をクリア（ALL）するか、現在表示しているコマンドをクリアするか（CURRENT）指定します。
TAKE	クロスポイントを切り替えます。テイクモード時に有効となり、テイクモードオフ時にはクロスポイントを切り替えるごとに強点灯後、自動で弱点灯になります。
TAKE MODE SWITCH	押下する度にテイクモードをオン、オフします。テイクモード時は強点灯します。 ※コントロールパネルの電源投入時の設定は一般タブのテイクモード設定となります。
PANEL LOCK	押下する度にパネルロック状態と通常状態を切り替えます。パネルロック状態では、強点灯します。
DEST LOCK	押下する度に Destination ロック状態と通常状態を切り替えます。Destination ロック状態では、強点灯します。本コントロールパネルで現在選択している Destination を本コントロールパネルからの操作をロックする LOCK_LOCAL、本コントロールパネルで現在選択している Destination を他のコントロールパネルからの操作をロックする LOCK_OTHER、本コントロールパネルで現在選択している Destination を全コントロールパネルからの操作をロックする LOCK_ALL を設定します。
DEST LOCK N	押下する度に指定した Destination 番号をロック状態と通常状態を切り替えます。Destination ロック状態では、強点灯します。ルーター、レイヤー、ロックモード、Destination 番号を設定します。
PAGE	ページを変更します。UP、DOWN、JUMP のいずれかを選択し、JUMP の時は、ジャンプするページを設定します。JUMP が選択された場合、選択されたページの場合、LED はハイライトになります。

機能	内容
MVU PRESET	<p>接続先がビデオ系ルーターでマルチビュー機能がある場合、マルチビューのプリセット番号を切り替えます。</p> <p>UP、DOWN、JUMP のいずれかを選択し、JUMP の時は、ジャンプするプリセット番号を設定します。</p> <p>例えばルーターが 3 つのプリセットを持つ場合、以下のような動作となります。</p> <p>UP: PRESET1 → PRESET2 → PRESET3 → PRESET1</p> <p>DOWN: PRESET1 → PRESET3 → PRESET2 → PRESET1</p> <p>JUMPTO: PRESET1、PRESET2、PRESET3 のいずれかを指定。PRESET4 を指定した場合、最大値の PRESET3 が設定されます。</p> <p>JUMP を選択した場合、マルチビューのプレイセット番号が現在表示されている場合、ハイライトになります。</p>
DISP MODE	<p>押下する度に表示モードを切り替えます。UP、DOWN、JUMP のいずれかを選択し、JUMP の時は、ジャンプする表示モードを設定します。</p>
TEST ASG	<p>オーディオルーターの SG(内蔵オシレータ)の CH1、CH2 を独立して ON/OFF/TOGGLE を割り当てることができます。</p> <p>TOGGLE を設定した場合、ボタン押下ごとに ON→OFF→ON となります。</p>

6-4-1. BUS コマンド

機能 BUS を選択すると以下のような設定画面となります。




図 6-6 BUS コマンド設定画面

・色:

ボタン色を選択します。

OLED18 は Green(緑)、Red(赤)、Amber(黄)、Blue(青)、Purple(紫)、Cyan(水色)、White(白)の 7 色から選択します。

それ以外のコントロールパネルは Green(緑)、Red(赤)、Amber(黄)、Blue(青)の 4 色から選択します。

・弱点灯時の明るさ:

「Normal」、「Dark」から選択します。

・強点灯時の明るさ:

1～8 の明るさから選択します。

・ルーター :

接続先タブで設定したルーターから一覧が表示されるため設定したいルーターを選択してください。

・レイヤー :

現バージョンでは選択できません。表示されている設定のままにしてください。

・LINK 数:

通常のクロスポイント設定は 1、Dual-Link は 2 を選択してください。

1 以外の選択をする場合、接続ルーターのグループ クロスポイント設定で LINK 数のグループ ソース/デストが予め設定されていることが必要です。

・ソース:

クロスポイント設定するソース番号を選択してください。

LINK 数 1 の場合、接続ルーターのソース数 + カラーバー、マルチビューなどの内蔵信号が選択できます。

LINK 数 2 以上の場合、接続先ルーターのグループ クロスポイント設定により選択が変わります。

接続先ルーター グループクロスポイント設定を変更した場合、F5 キーを押下し、情報の再ロードを行ってからボタン設定を行ってください。

・デスト:

クロスポイント設定するデスト番号を選択してください。

LINK 数 1 の場合、接続ルーターのデスト数が選択できます。

LINK 数 2 以上の場合、接続先ルーターのグループ クロスポイント設定により選択が変わります。

接続先ルーター グループクロスポイント設定を変更した場合、F5 キーを押下し、情報の再ロードを行ってからボタン設定を行ってください。

・OLED 表示タイプ (OLED18 のみ):

「String」のみ選択可能です。

・OLED 文字サイズ(OLED18 のみ):

「Small」、「Normal」、「Large」から選択します。

Small	1 行あたり半角英数字 8 文字漢字 4 文字。1 行あるいは 2 行表示が可能です
Normal	1 行あたり半角英数字 6 文字漢字 3 文字。1 行あるいは 2 行表示が可能です
Large	1 行あたり半角英数字 4 文字漢字 2 文字。1 行あるいは 2 行表示が可能です

・OLED label1(OLED18 のみ):

1 行目のラベル文字列を設定します。文字数は OLED 文字サイズの設定に依存します。

・OLED label2 (OLED18 のみ):

1 行目のラベル文字列を設定します。文字数は OLED 文字サイズの設定に依存します。

・追加ボタン (OLED18 のみ):

表示行が 1 行の場合、2 行目の設定を行いたい場合、このボタンを押下します。

2 行表示の場合、以下のような画面になります。

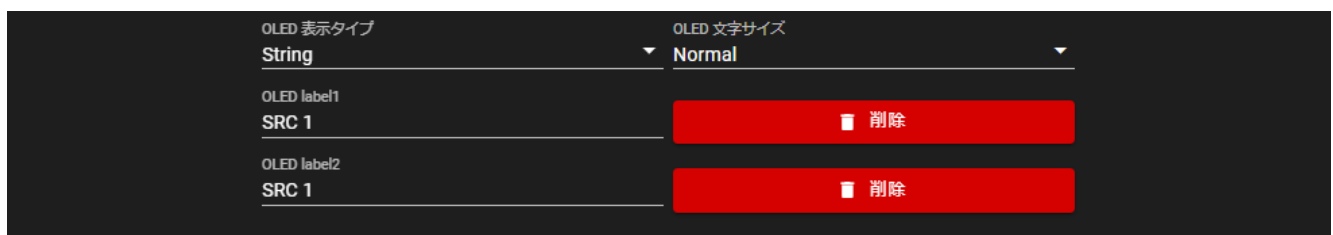


図 6-7 OLED ラベル表示画面

・削除ボタン(OLED18 のみ):

OLED 表示行が 2 行の場合、OLED label1、OLED label2 の横の削除ボタンを押下することで、label1 あるいは label2 のラベル行を削除し、ラベル数を 1 行にすることができます。

6 - 4 - 2 . DEST N コマンド

機能 DEST N を選択すると以下のような設定画面となります。

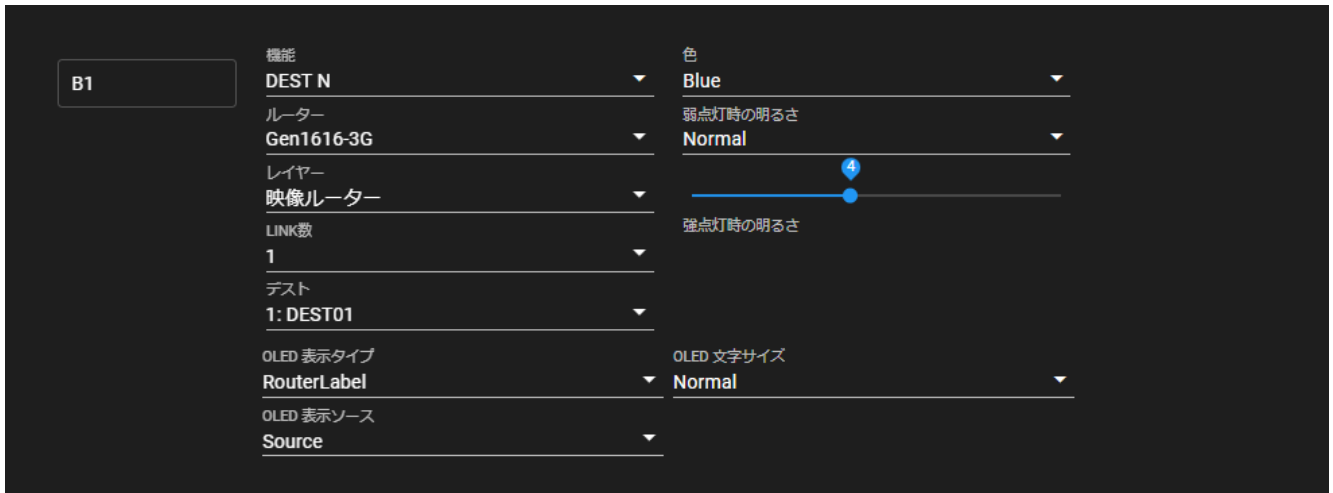


図 6-8 DEST N 設定画面

・色:

・弱点灯時の明るさ :

・強点灯時の明るさ:

・ルーター:

・レイヤー:

・LINK 数:

・デスト :

BUS コマンドを参照してください。

・OLED 表示タイプ (OLED18 のみ):

「String」、「Router Label」から選択します。

「Router Label」を選択した場合、OLED 表示ソースに従って文字列が表示されます。

・OLED 表示ソース (OLED18 のみ):

「Source」、「Destination」から選択します。

Source	DEST N が選択しているソース番号のラベル名を表示します。 1 行に収まらないときは 2 行表示になります
Destination	DEST N のラベル名を表示します。1 行に収まらないときは 2 行表示になります

6-4-3. SRC N コマンド

機能 SRC N を選択すると以下のような設定画面となります。

本ボタン押下前に DEST N など、接続先ルーター、レイヤー、LINK 数、DEST 番号情報が持ったボタンが押下されている必要があります。

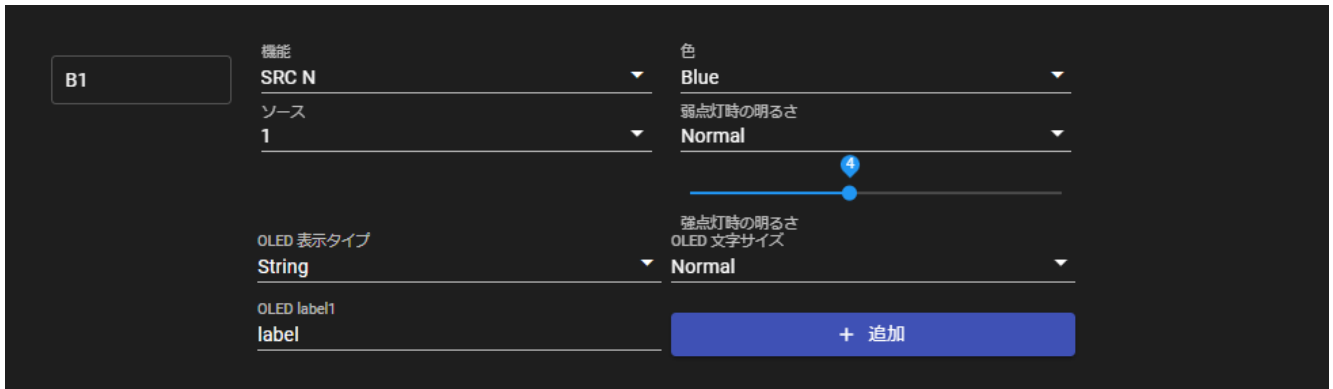


図 6-9 SRC N 設定画面

- ・色:
- ・弱点灯時の明るさ:
- ・強点灯時の明るさ:
- ・OLED 文字サイズ(OLED18 のみ):
- ・OLED label1(OLED18 のみ):
- ・OLED label2(OLED18 のみ):
- ・追加ボタン (OLED18 のみ):

BUS コマンドを参照してください。

・ソース:

ソース番号を選択します。

・OLED 表示タイプ (OLED18 のみ):

「String」、「Router Label」から選択します。

String	OLED label1、OLED label2 で設定された文字列が表示されます
Router Label	ルーターで設定されたソース ラベル名が表示されます。 LINK 数 2 以上の場合は、グループ クロスポイント設定のラベル名が表示されます

6-4-4. DEST コマンド

機能 DEST を選択すると以下のような設定画面となります。

DEST コマンド押下後、NUMBER コマンドを押下することで、DEST N と同等の設定となります。



図 6-10 DEST 設定画面

- ・色:
- ・弱点灯時の明るさ:
- ・強点灯時の明るさ:
- ・ルーター:
- ・レイヤー:
- ・LINK 数:
- ・OLED 文字サイズ(OLED18 のみ):
- ・OLED label1(OLED18 のみ):
- ・OLED label2(OLED18 のみ):
- ・追加ボタン (OLED18 のみ):

BUS コマンドを参照してください。

- ・OLED 表示タイプ (OLED18 のみ):

“String”のみ選択可能です。

6-4-5. SRC コマンド

機能 SRC を選択すると以下のような設定画面となります。

本ボタン押下前に DEST N など、接続先ルーター、レイヤー、LINK 数、DEST 番号情報が持ったボタンが押下されている必要があります。

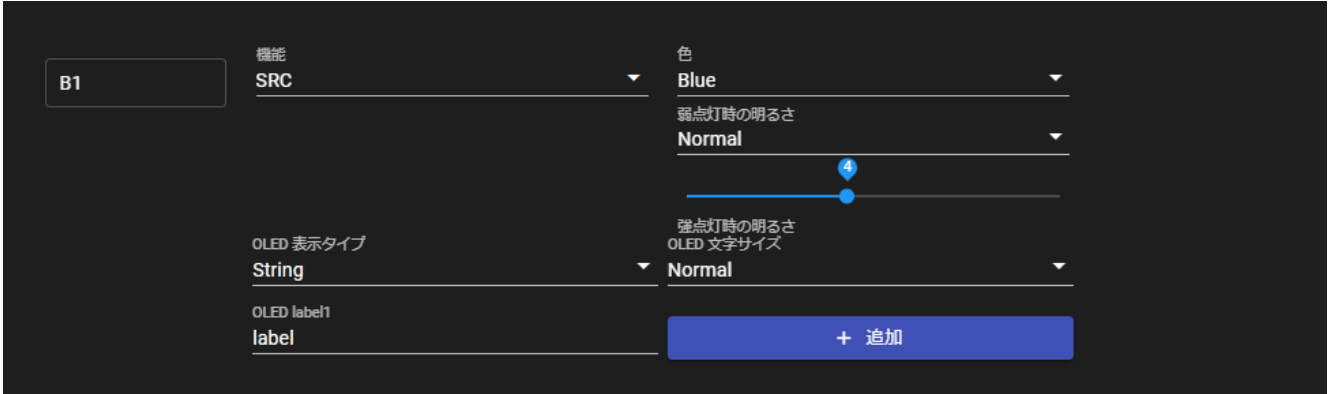


図 6-11 SRC 設定画面

- ・色:
- ・弱点灯時の明るさ:
- ・強点灯時の明るさ:
- ・OLED 文字サイズ(OLED18 のみ):
- ・OLED label1(OLED18 のみ):
- ・OLED label2(OLED18 のみ):
- ・追加ボタン (OLED18 のみ):

BUS コマンド参照してください。

・OLED 表示タイプ (OLED18 のみ):

「String」のみ選択可能です。

DEST、SRC、NUMBER コマンドを利用したクロスポイント設定

DEST → NUMBER # D → SRC → NUMBER # S と押下することで、DEST に設定された接続ルーターへのクロスポイントコマンドを発行します。

6-4-6. NUMBER コマンド

機能 NUMBER を選択すると以下のような設定画面となります。

本ボタン押下前に DEST 、SRC コマンドのいずれかが予め押下されている必要があります。

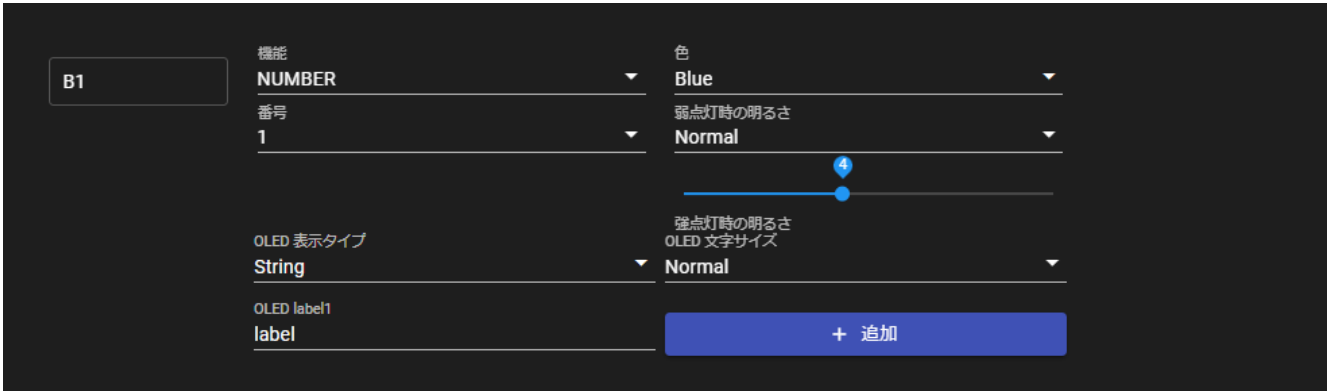


図 6-12 NUMBER 設定画面

- ・色:
- ・弱点灯時の明るさ:
- ・強点灯時の明るさ:
- ・OLED 文字サイズ(OLED18 のみ):
- ・OLED label1(OLED18 のみ):
- ・OLED label2(OLED18 のみ):
- ・追加ボタン (OLED18 のみ):

BUS コマンド参照してください。

・番号:

デスト番号やソース番号の指定を行います。

・OLED 表示タイプ (OLED18 のみ):

「String」のみ選択可能です。

6-5. サルボ タブ

サルボ タブを押下すると、以下のタブが表示されます。

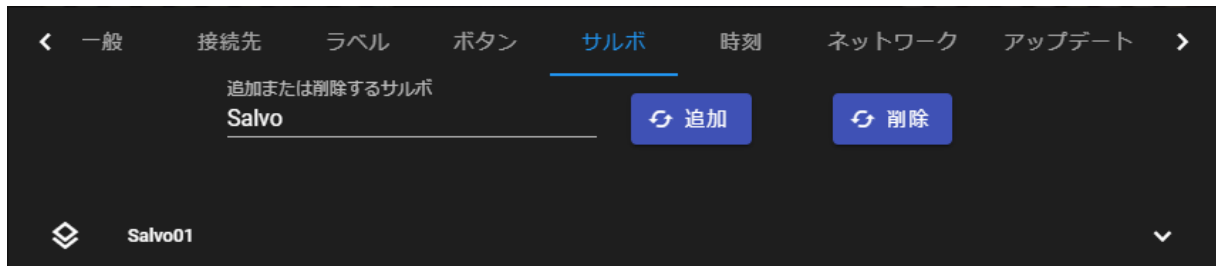


図 6-13 DualJog サルボ設定画面

新しいサルボを登録するときは追加または削除するサルボにサルボ名を入力後、追加ボタン、又は、削除ボタンを押してください。

登録されているサルボの設定変更をする場合には、サルボ名を押下してください。

サルボ名は大文字、小文字を区別します。また、コマンド発行はサルボ名を用いるため、同じサルボ名の登録はしないでください。

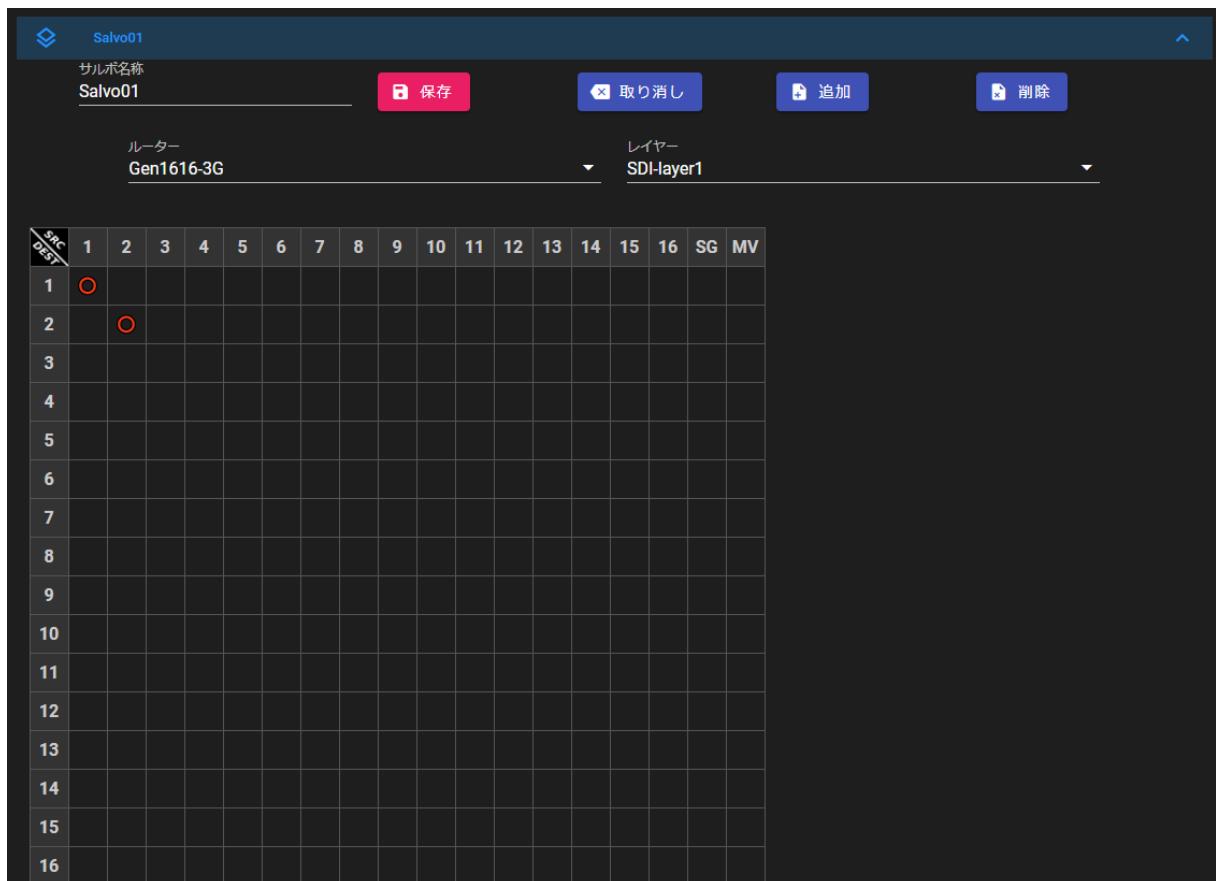


図 6-14 サルボ設定画面

同時に切り替えるクロスポイントを押下することにより、サルボ設定し、再度押下することによりサルボ設定を解除できます。

取り消しボタンを押下すると、保存前の設定状態に戻ります。

設定変更後、保存ボタンを押下することにより、ルーターに設定が保存されます。

サルボの追加ボタンを押下すると、異なるレイヤーや、異なるルーターを追加設定することができます。

削除ボタンを押下すると最後に追加したレイヤーが削除されます。

6 – 6. 時刻 タブ

ルーターの時刻タブと同様の設定ができます。

6 – 7. ネットワーク タブ

ルーターのネットワークタブと同様の設定ができます。

6 – 8. アップデート タブ

ルーターのアップデートタブと同様に、ソフトウェアの更新が可能です。

※ Standard32、Standard16、TT 8 は USB メモリを用いたアップデートのみ対応しています。

6 – 9. 製品情報 タブ

ハードウェアバージョンを除きルーターの製品情報タブと同様の項目が確認できます。

7. お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp